

「市民の防犯意識」に関するアンケート調査

1 調査目的

静岡市では平成 27 年 3 月に「第 2 次静岡市犯罪等に強いまちづくり基本計画」を策定し、安心して生活することができる安全な地域社会の実現に向けて取組を進めています。

そこで、市民の皆さんが「防犯」、「地域における防犯活動」、「暴力団排除活動」、「犯罪被害者等支援」についてどのように感じているのかご意見を伺い、今後の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象

市政アンケートモニターとして委嘱した市内在住の 150 人

3 回収件数

145 件（回収率約 96.7%）

4 調査方法

インターネットによるアンケート調査

5 調査期間

令和 3 年 9 月 21 日（火）～9 月 28 日（火）

6 担当課

市民局 生活安心安全課

7 回答者の属性

（1）年代・性別

（人）

	男性	女性	計
10 代（18 歳以上）	1	5	6
20 代	1	19	20
30 代	7	14	21
40 代	12	17	29
50 代	13	15	28
60 代	13	14	27
70 代以上	10	4	14
総計	57	88	145

(2) 居住区

(人)

	葵区	駿河区	清水区	総計
人数	66	48	31	145

(3) 婚姻有無

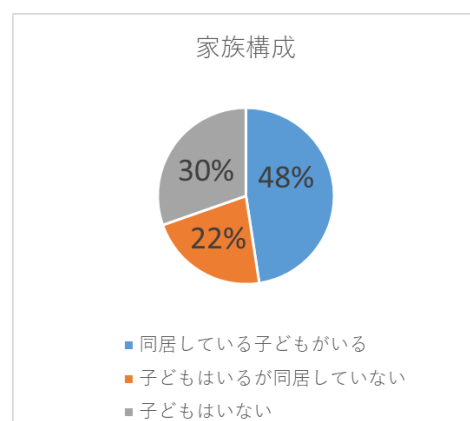
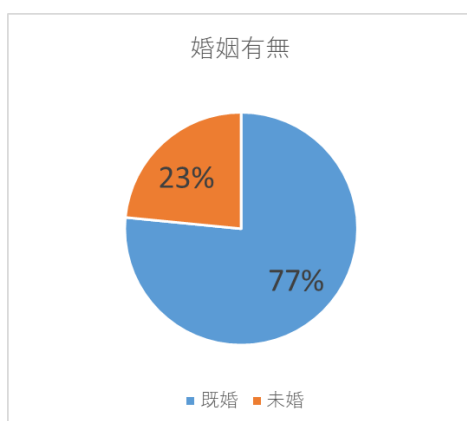
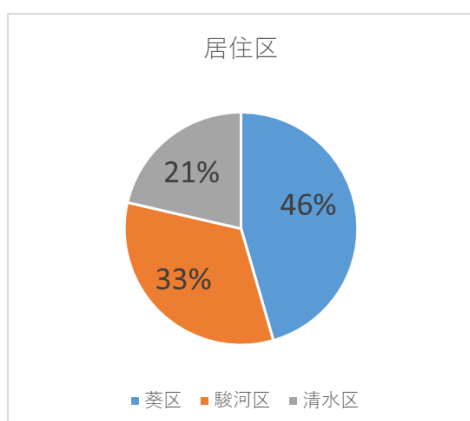
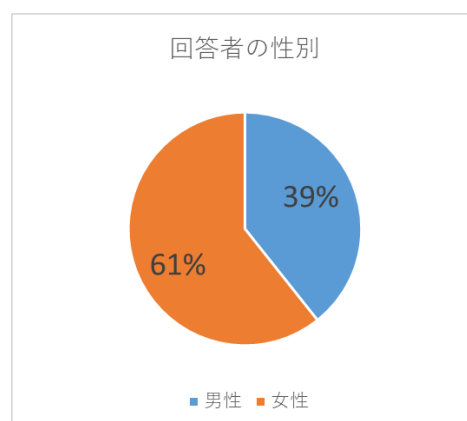
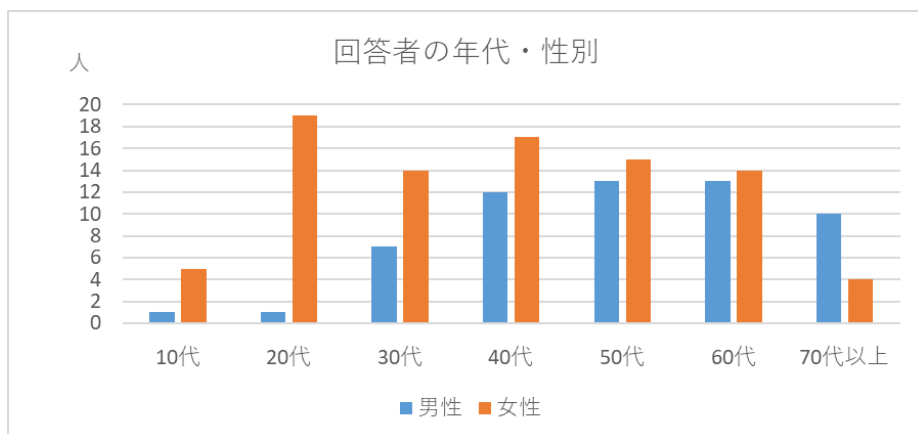
(人)

	既婚	未婚	総計
人数	111	34	145

(4) 家族構成

(人)

	同居している子どもがいる	子どもはいるが同居していない	子どもはいない	総計
人数	69	32	44	145



(5) 静岡市での居住年数

① 男女別

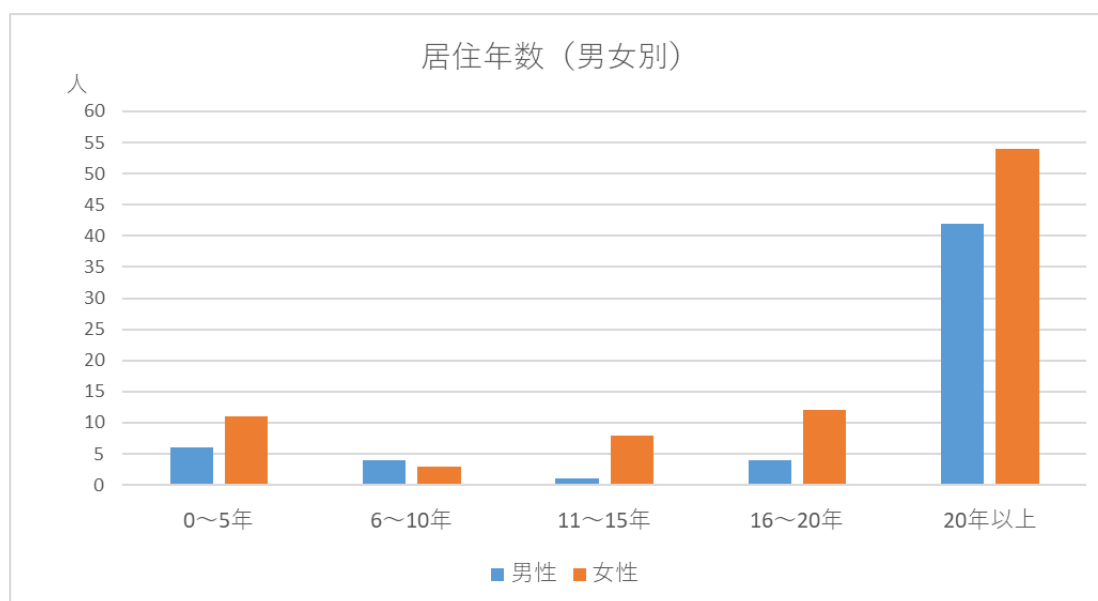
() 内の割合は各性別における割合

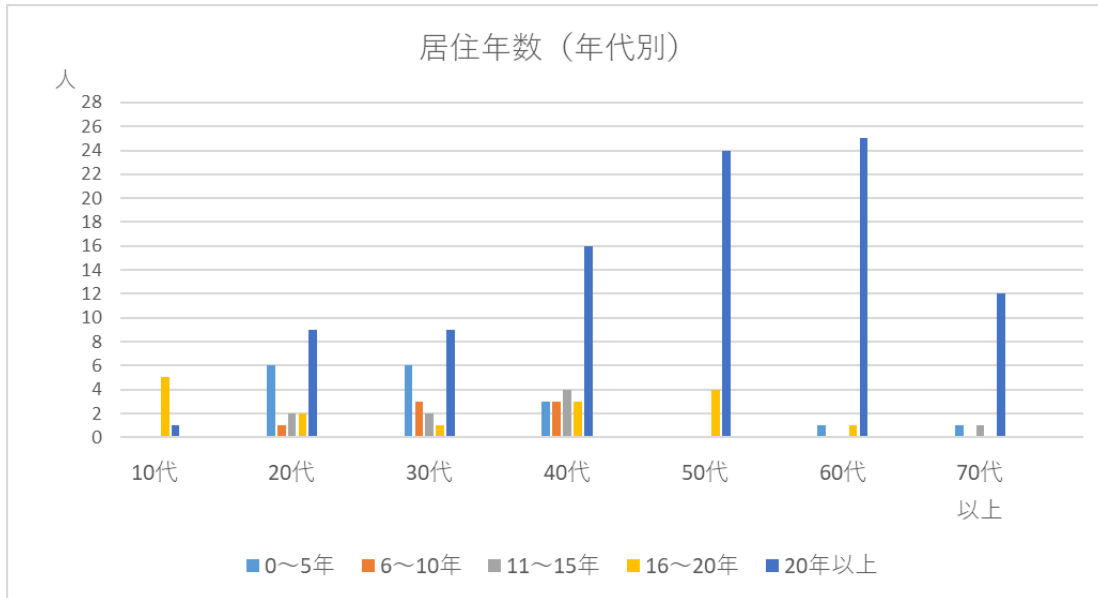
	男性		女性		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0～5年	6	(10.5%)	11	(12.5%)	17	(11.7%)
6～10年	4	(7.0%)	3	(3.4%)	7	(4.8%)
11～15年	1	(1.8%)	8	(9.1%)	9	(6.2%)
16～20年	4	(7.0%)	12	(13.6%)	16	(11.0%)
20年以上	42	(73.7%)	54	(61.4%)	96	(66.2%)
総計	57		88		145	

② 年代別

() 内の割合は各年代における割合

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0～5年	0	(0.0%)	6	(30.0%)	6	(28.6%)	3	(10.3%)	0	(0.0%)	1	(3.7%)	1	(7.1%)	17	(11.7%)
6～10年	0	(0.0%)	1	(5.0%)	3	(14.3%)	3	(10.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(4.8%)
11～15年	0	(0.0%)	2	(10.0%)	2	(9.5%)	4	(13.8%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(7.1%)	9	(6.2%)
16～20年	5	(83.3%)	2	(10.0%)	1	(4.8%)	3	(10.3%)	4	(14.3%)	1	(3.7%)	0	(0.0%)	16	(11.0%)
20年以上	1	(16.7%)	9	(45.0%)	9	(42.9%)	16	(55.2%)	24	(85.7%)	25	(92.6%)	12	(85.7%)	96	(66.2%)
総計	6		20		21		29		28		27		14		145	

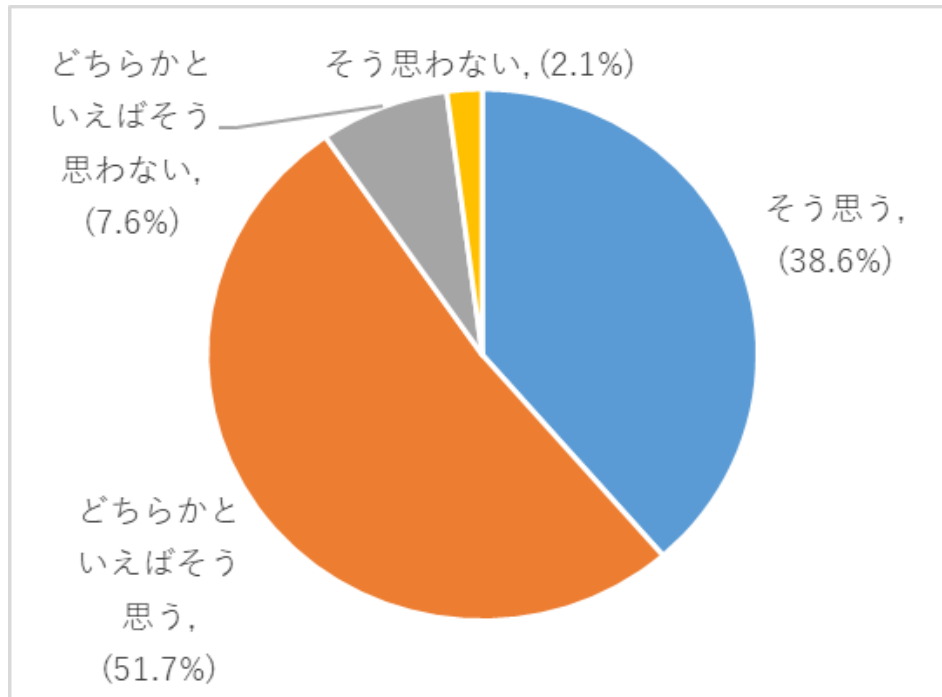




8 調査結果・概要

問1 あなたは、普段静岡市で生活していく中で、安全で安心して生活することができますか。

- ・「そう思う」と回答した割合は38.6%、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合は51.7%となり、9割以上が「安全で安心して生活することができる」と思っている。
- ・男女別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合は、男性の方が女性よりも、10.1%高かった。



(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
そう思う	26 (45.6%)	30 (34.1%)	56 (38.6%)
どちらかといえばそう思う	29 (50.9%)	46 (52.3%)	75 (51.7%)
どちらかといえばそう思わない	1 (1.8%)	10 (11.4%)	11 (7.6%)
そう思わない	1 (1.8%)	2 (2.3%)	3 (2.1%)
合計	57	88	145

(2) 年代別

() 内の割合は各年代における割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
そう思う	3 (50.0%)	8 (40.0%)	5 (23.8%)	12 (41.4%)	13 (46.4%)	8 (29.6%)	7 (50.0%)	56 (38.6%)
どちらかといえばそう思う	3 (50.0%)	9 (45.0%)	12 (57.1%)	14 (48.3%)	14 (50.0%)	16 (59.3%)	7 (50.0%)	75 (51.7%)
どちらかといえばそう思わない	0 (0.0%)	3 (15.0%)	3 (14.3%)	3 (10.3%)	1 (3.6%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	11 (7.6%)
そう思わない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	3 (2.1%)
合計	6	20	21	29	28	27	14	145

(3) 居住年数別

() 内の割合は居住年における割合

	0～5年	6～10年	11～15年	16～20年	20年以上	合計
そう思う	8 (47.1%)	3 (42.9%)	4 (44.4%)	6 (37.5%)	35 (36.5%)	56 (38.6%)
どちらかといえばそう思う	5 (29.4%)	3 (42.9%)	5 (55.6%)	9 (56.3%)	53 (55.2%)	75 (51.7%)
どちらかといえばそう思わない	3 (17.6%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	6 (6.3%)	11 (7.6%)
そう思わない	1 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.1%)	3 (2.1%)
合計	17	7	9	16	96	145

○「そう思う」理由（主なもの）

- ・治安が良い。
- ・危険なことに遭遇したことがない。
- ・犯罪が身近で起こっていない。
- ・穏やかで、人が良い。
- ・道路に街路灯があり、夜も安心。交番、消防署、病院も近くにある。

○「どちらかといえばそう思う」理由（主なもの）

- ・静岡市は県内でも比較的治安が良い都市だから。
- ・危険な目にあう事がほとんどない。
- ・今までは、安全・安心かと思っていたが、最近不審者が多いため。
- ・交通事故の面では怖い思いはしたことがあるから。

○「どちらかといえばそう思わない」理由（主なもの）

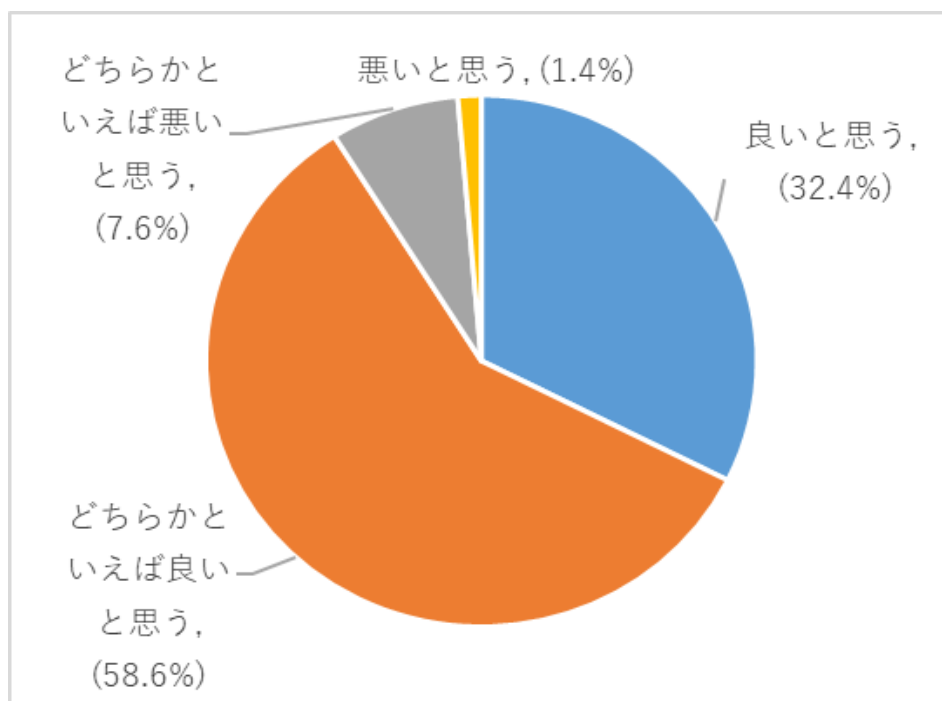
- ・夜間暗い路地などが多く、都会と比べて監視カメラの数も少ない。
- ・不審者が多く、通報をすることがあった。
- ・いつ被害に遭うかわからない不安が常にあるため。

○「そう思わない」理由（主なもの）

- ・最近詐欺まがいの訪問販売が多い。
- ・道幅が狭く、歩行しているときに危険を感じる。

問 2-1 あなたは、静岡市の治安についてどう思いますか。

- 「良いと思う」と回答した割合が32.4%、「どちらかといえば良いと思う」と回答した割合は58.6%となり、9割以上が静岡市の治安は良いと思っている。
- 居住年数別にみると、「良いと思う」「どちらかといえば良いと思う」と回答した96人のうち、居住年数が「20年以上」の人が88人であり、居住年数が長いほど、治安は良いと思っていると考えられる。



(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
良いと思う	21 (36.8%)	26 (29.5%)	47 (32.4%)
どちらかといえば良いと思う	31 (54.4%)	54 (61.4%)	85 (58.6%)
どちらかといえば悪いと思う	3 (5.3%)	8 (9.1%)	11 (7.6%)
悪いと思う	2 (3.5%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)
合計	57	88	145

(2) 年代別

() 内の割合は各年代における割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
良いと思う	4 (66.7%)	7 (35.0%)	5 (23.8%)	7 (24.1%)	11 (39.3%)	9 (33.3%)	4 (28.6%)	47 (32.4%)
どちらかといえば良いと思う	2 (33.3%)	10 (50.0%)	13 (61.9%)	20 (69.0%)	14 (50.0%)	16 (59.3%)	10 (71.4%)	85 (58.6%)
どちらかといえば悪いと思う	0 (0.0%)	3 (15.0%)	3 (14.3%)	2 (6.9%)	2 (7.1%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	11 (7.6%)
悪いと思う	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.6%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)
合計	6	20	21	29	28	27	14	145

(3) 居住年数別

() 内の割合は居住年における割合

	0～5年	6～10年	11～15年	16～20年	20年以上	合計
良いと思う	8 (47.1%)	4 (57.1%)	2 (22.2%)	5 (31.3%)	28 (29.2%)	47 (32.4%)
どちらかといえば良いと思う	8 (47.1%)	3 (42.9%)	6 (66.7%)	8 (50.0%)	60 (62.5%)	85 (58.6%)
どちらかといえば悪いと思う	1 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	2 (12.5%)	7 (7.3%)	11 (7.6%)
悪いと思う	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	1 (1.0%)	2 (1.4%)
合計	17	7	9	16	96	145

○「良いと思う」理由（主なもの）

- ・犯罪が身近で起きていない。
- ・危険な目にあったことがない。
- ・警察が、よくパトロールしている

○「どちらかといえば良いと思う」理由（主なもの）

- ・大きな事件が無いから。
- ・警察のパトロールをよく見かける
- ・犯罪が全く起きていないわけではないため。

○「どちらかといえば悪いと思う」理由（主なもの）

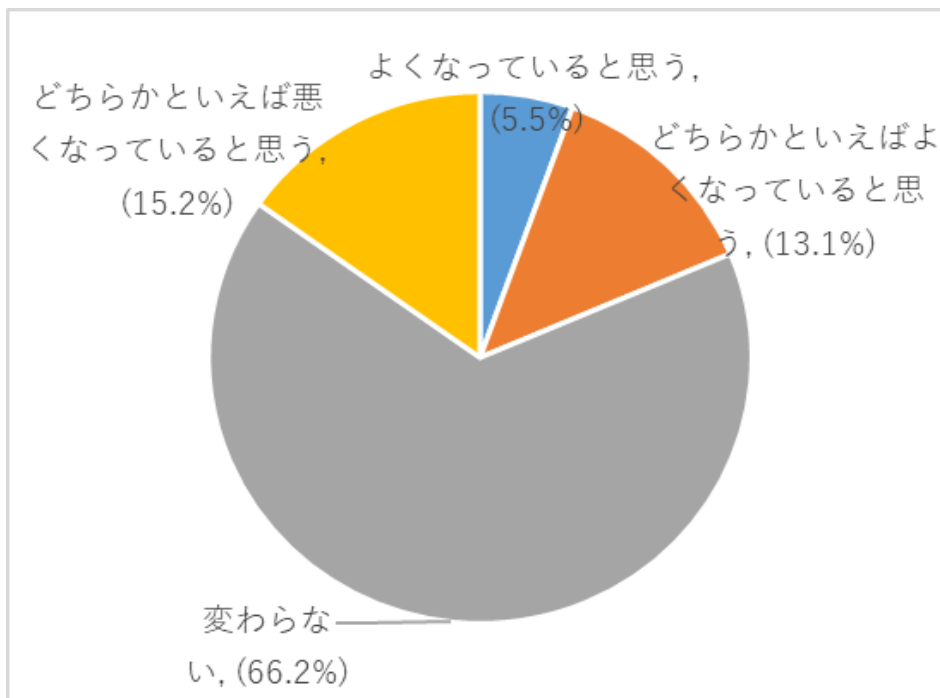
- ・交通事故や軽犯罪、詐欺などの事件が多く見受けられる。
- ・近くで事件などあったから。
- ・不審な人が増えている。
- ・夜間にバイクが暴走していたり、ゴミの不法投棄が目立つ場所がある。

○「悪いと思う」理由

- ・暴力団関連の建物が多い。

問3-1 あなたは、静岡市の治安はよくなっていると思いますか。それとも悪くなっていると思いますか。

- ・「変わらない」と回答した割合が最も高く、66.2%となった。
- ・「どちらかといえば悪くなっていると思う」と回答した割合は、50代（28.6%）が他の年代と比べると高かった。



(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
よくなっていると思う	3 (5.3%)	5 (5.7%)	8 (5.5%)
どちらかといえばよくなっていると思う	7 (12.3%)	12 (13.6%)	19 (13.1%)
変わらない	39 (68.4%)	57 (64.8%)	96 (66.2%)
どちらかといえば悪くなっていると思う	8 (14.0%)	14 (15.9%)	22 (15.2%)
悪くなっていると思う	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	57	88	145

(2) 年代別

() 内の割合は各年代における割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
よくなっていると思う	0 (0.0%)	2 (10.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)	2 (7.1%)	2 (7.4%)	1 (7.1%)	8 (5.5%)
どちらかといえばよくなっていると思う	1 (16.7%)	2 (10.0%)	3 (14.3%)	2 (6.9%)	4 (14.3%)	6 (22.2%)	1 (7.1%)	19 (13.1%)
変わらない	5 (83.3%)	13 (65.0%)	14 (66.7%)	23 (79.3%)	14 (50.0%)	16 (59.3%)	11 (78.6%)	96 (66.2%)
どちらかといえば悪くなっていると思う	0 (0.0%)	3 (15.0%)	4 (19.0%)	3 (10.3%)	8 (28.6%)	3 (11.1%)	1 (7.1%)	22 (15.2%)
悪くなっていると思う	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	6	20	21	29	28	27	14	145

(3) 居住年数別

() 内の割合は居住年における割合

	0～5年	6～10年	11～15年	16～20年	20年以上	合計
よくなっていると思う	1 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (12.5%)	5 (5.2%)	8 (5.5%)
どちらかといえばよくなっていると思う	3 (17.6%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	1 (6.3%)	14 (14.6%)	19 (13.1%)
変わらない	12 (70.6%)	7 (100.0%)	7 (77.8%)	12 (75.0%)	58 (60.4%)	96 (66.2%)
どちらかといえば悪くなっていると思う	1 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	1 (6.3%)	19 (19.8%)	22 (15.2%)
悪くなっていると思う	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	17	7	9	16	96	145

○「よくなっていると思う」理由（主なもの）

- ・大きな事件等がない。
- ・今まで暮らして治安が悪いと感じたことがないから。
- ・客引きの取り締まりを行なっている。

○「どちらかといえばよくなっていると思う」理由（主なもの）

- ・犯罪が増えていない。
- ・警察官をよく見かける。
- ・街灯が様々な所に取り付けられている。
- ・昔より家も増え、道も広く、公園も見通しがよく、夜道も明るくなった。
- ・ゴミなどもあまり散らかってなくきれいになった。

○「変わらないと思う」理由（主なもの）

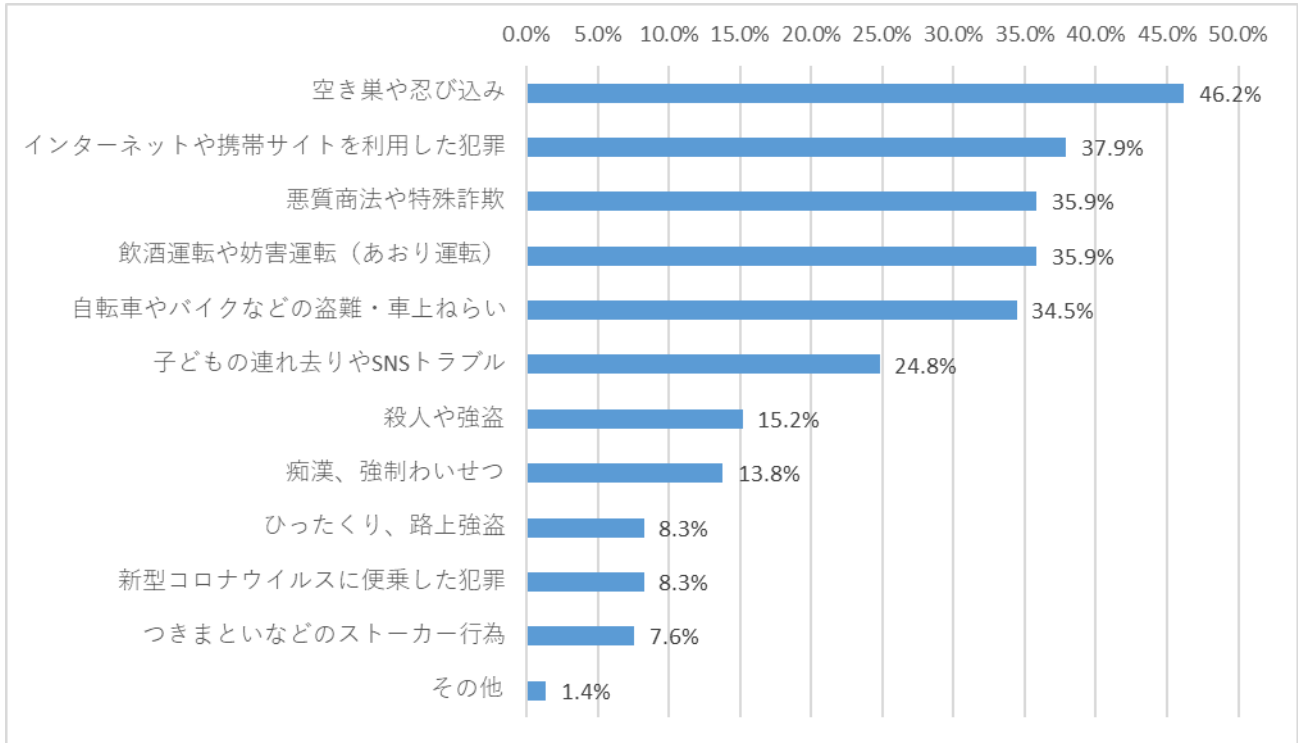
- ・目に見える変化を感じないため。
- ・変わらず治安がいい。
- ・犯罪認知件数が減っているが、被害を警察に報告しない人もいると思う。警察を呼んでも時間がかかるので、相当の被害にならなければ通報しないと思う。これだけで被害そのものが減っているとは思わない。
- ・犯罪や悪質行為などは時代をもちに反映するので、一概には言えないと思う。
- ・街灯の整備などまだまだ進んでいないように思うところも散見され、改善はあまり進んでいないように思えるから。

○「どちらかといえば悪くなっていると思う」理由（主なもの）

- ・最近不審者が多いため。
- ・自分が子どもの頃よりも、今の子どもたちの方が、犯罪にあわないように目を光らせていなければいけない印象が強い。
- ・緊急事態宣言後に道でたむろする人が増えた。

問4 自分や身近な人が被害に遭うかもしれないと、特に不安に感じる犯罪は何ですか。（選択は3つまで）

- 「空き巣や忍び込み」が最も高く67人（46.2%）、次いで「インターネットや携帯サイトを利用した犯罪」55人（37.9%）、「悪質商法や特殊詐欺」52人（35.9%）となった。
- 年代別にみると、「悪質商法や特殊詐欺」は、60代が他の年代と比べると高かった。



※悪質商法…一般消費者を対象に、組織的・反復的に敢行される商取引で、その商法自体に違法又は不当な手段・方法が組み込まれたもの。

※特殊詐欺…被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪。

(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
空き巣や忍び込み	24 (42.1%)	43 (48.9%)	67 (46.2%)
インターネットや携帯サイトを利用した犯罪	26 (45.6%)	29 (33.0%)	55 (37.9%)
悪質商法や特殊詐欺	22 (38.6%)	30 (34.1%)	52 (35.9%)
飲酒運転や妨害運転 (あおり運転)	19 (33.3%)	33 (37.5%)	52 (35.9%)
自転車やバイクなどの盗難・車上ねらい	28 (49.1%)	22 (25.0%)	50 (34.5%)
子どもの連れ去りやSNSトラブル	11 (19.3%)	25 (28.4%)	36 (24.8%)
殺人や強盗	8 (14.0%)	14 (15.9%)	22 (15.2%)
痴漢、強制わいせつ	4 (7.0%)	16 (18.2%)	20 (13.8%)
ひったくり、路上強盗	5 (8.8%)	7 (8.0%)	12 (8.3%)
新型コロナウイルスに便乗した犯罪	2 (3.5%)	10 (11.4%)	12 (8.3%)
つきまといなどのストーカー行為	2 (3.5%)	9 (10.2%)	11 (7.6%)
その他	0 (0.0%)	2 (2.3%)	2 (1.4%)
合計	151	240	391

(2) 年代別

() 内の割合は各年代における割合

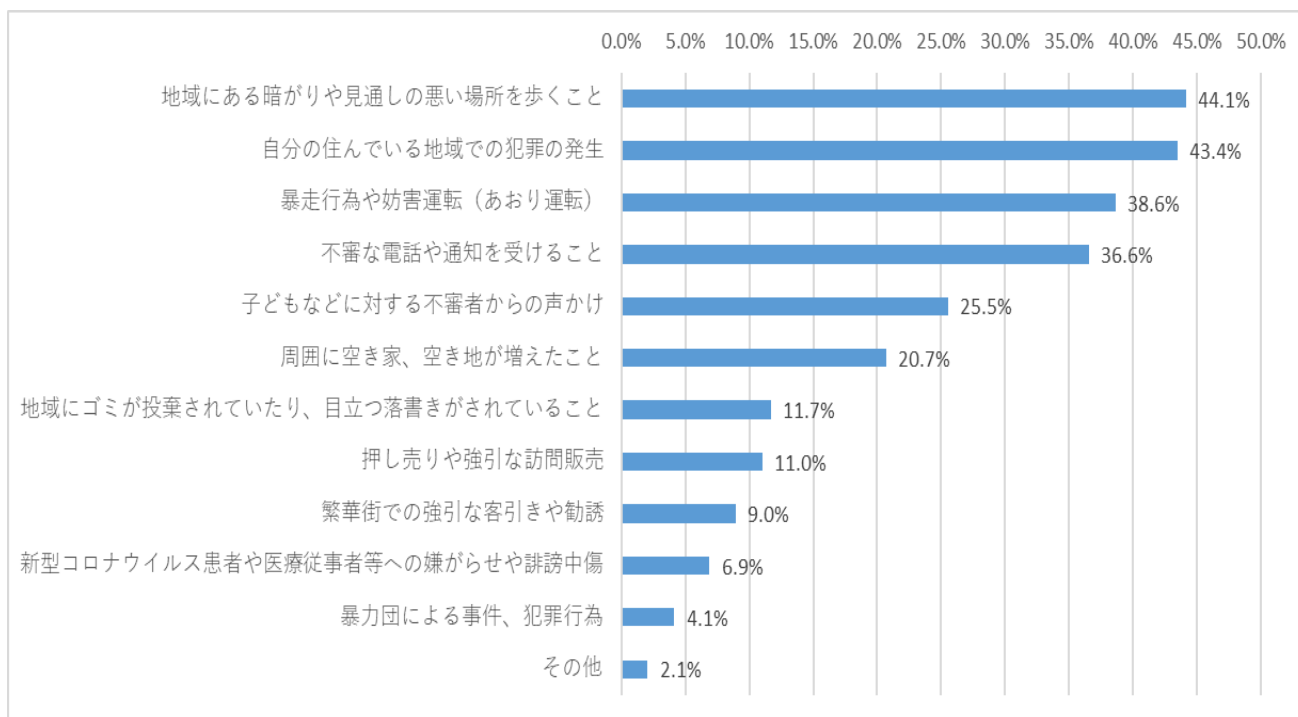
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
空き巣や忍び込み	0 (0.0%)	8 (40.0%)	10 (47.6%)	17 (58.6%)	16 (57.1%)	9 (33.3%)	7 (50.0%)	67 (46.2%)
インターネットや携帯サイトを利用した犯罪	3 (50.0%)	6 (30.0%)	4 (19.0%)	8 (27.6%)	14 (50.0%)	13 (48.1%)	7 (50.0%)	55 (37.9%)
悪質商法や特殊詐欺	1 (16.7%)	5 (25.0%)	2 (9.5%)	10 (34.5%)	8 (28.6%)	20 (74.1%)	6 (42.9%)	52 (35.9%)
飲酒運転や妨害運転 (あおり運転)	2 (33.3%)	7 (35.0%)	7 (33.3%)	12 (41.4%)	9 (32.1%)	12 (44.4%)	3 (21.4%)	52 (35.9%)
自転車やバイクなどの盗難・車上ねらい	2 (33.3%)	2 (10.0%)	7 (33.3%)	12 (41.4%)	9 (32.1%)	10 (37.0%)	8 (57.1%)	50 (34.5%)
子どもの連れ去りやSNSトラブル	4 (66.7%)	6 (30.0%)	8 (38.1%)	7 (24.1%)	5 (17.9%)	4 (14.8%)	2 (14.3%)	36 (24.8%)
殺人や強盗	1 (16.7%)	6 (30.0%)	5 (23.8%)	2 (6.9%)	6 (21.4%)	1 (3.7%)	1 (7.1%)	22 (15.2%)
痴漢、強制わいせつ	1 (16.7%)	4 (20.0%)	3 (14.3%)	5 (17.2%)	1 (3.6%)	5 (18.5%)	1 (7.1%)	20 (13.8%)
ひったくり、路上強盗	0 (0.0%)	1 (5.0%)	3 (14.3%)	2 (6.9%)	3 (10.7%)	1 (3.7%)	2 (14.3%)	12 (8.3%)
新型コロナウイルスに便乗した犯罪	0 (0.0%)	2 (10.0%)	2 (9.5%)	4 (13.8%)	2 (7.1%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	12 (8.3%)
つきまといなどのストーカー行為	0 (0.0%)	6 (30.0%)	2 (9.5%)	0 (0.0%)	1 (3.6%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	11 (7.6%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (9.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)
合計	14	53	55	79	74	77	39	391

(その他意見)

- ・当て逃げ
- ・小学生への声かけ

問5 日常生活において、特に不安に感じることは何ですか。(選択は3つまで)

- ・「地域にある暗がりや見通しの悪い場所を歩くこと」が64人(44.1%)、次いで「自分の住んでいる地域での犯罪の発生」が63人(43.4%)、「暴走行為や妨害運転(あおり運転)」56人(38.6%)となった。
- ・男女別にみると、「地域にある暗がりや見通しの悪い場所を歩くこと」は、男性15人(26.3%)であるのに対し、女性は49人(55.7%)と高くなっている。



(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
地域にある暗がりや見通しの悪い場所を歩くこと	15 (26.3%)	49 (55.7%)	64 (44.1%)
自分の住んでいる地域での犯罪の発生	27 (47.4%)	36 (40.9%)	63 (43.4%)
暴走行為や妨害運転(あおり運転)	23 (40.4%)	33 (37.5%)	56 (38.6%)
不審な電話や通知を受けること	20 (35.1%)	33 (37.5%)	53 (36.6%)
子どもなどに対する不審者からの声かけ	13 (22.8%)	24 (27.3%)	37 (25.5%)
周囲に空き家、空き地が増えたこと	16 (28.1%)	14 (15.9%)	30 (20.7%)
地域にゴミが投棄されていたり、目立つ落書きがされていること	12 (21.1%)	5 (5.7%)	17 (11.7%)
押し売りや強引な訪問販売	5 (8.8%)	11 (12.5%)	16 (11.0%)
繁華街での強引な客引きや勧誘	7 (12.3%)	6 (6.8%)	13 (9.0%)
新型コロナウイルス患者や医療従事者等への嫌がらせや誹謗中傷	4 (7.0%)	6 (6.8%)	10 (6.9%)
暴力団による事件、犯罪行為	2 (3.5%)	4 (4.5%)	6 (4.1%)
その他	1 (1.8%)	2 (2.3%)	3 (2.1%)
合計	145	223	368

(2) 年代別

() 内の割合は各年代における割合

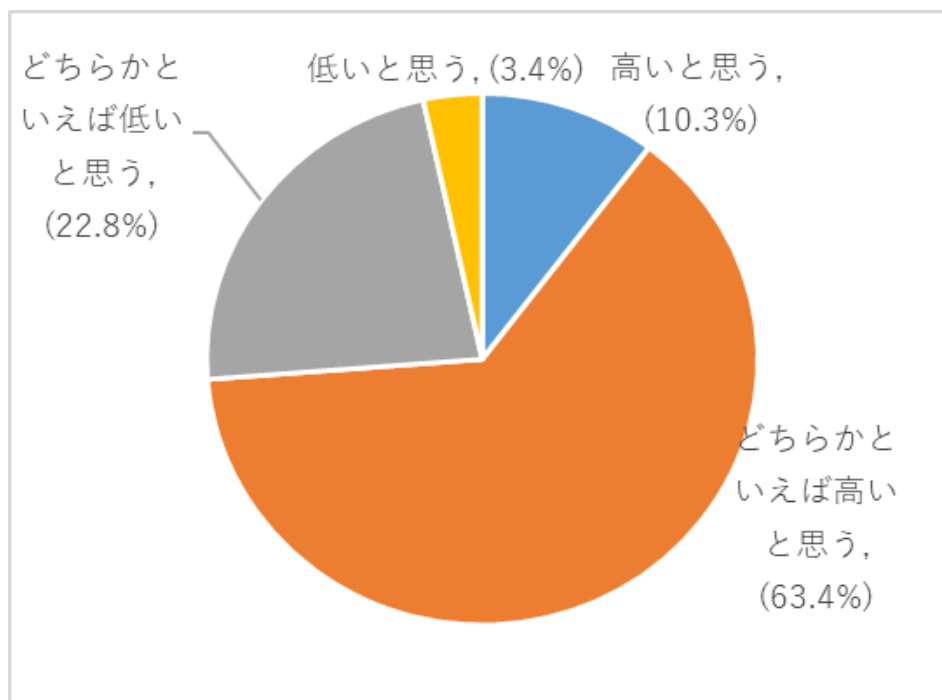
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
地域にある暗がりや見通しの悪い場所を歩くこと	3 (50.0%)	14 (70.0%)	13 (61.9%)	13 (44.8%)	8 (28.6%)	8 (29.6%)	5 (35.7%)	64 (44.1%)
自分の住んでいる地域での犯罪の発生	4 (66.7%)	11 (55.0%)	12 (57.1%)	7 (24.1%)	12 (42.9%)	11 (40.7%)	6 (42.9%)	63 (43.4%)
暴走行為や妨害運転（あおり運転）	2 (33.3%)	9 (45.0%)	9 (42.9%)	9 (31.0%)	11 (39.3%)	12 (44.4%)	4 (28.6%)	56 (38.6%)
不審な電話や通知を受けること	1 (16.7%)	5 (25.0%)	4 (19.0%)	10 (34.5%)	8 (28.6%)	17 (63.0%)	8 (57.1%)	53 (36.6%)
子どもなどに対する不審者からの声かけ	0 (0.0%)	5 (25.0%)	8 (38.1%)	9 (31.0%)	7 (25.0%)	6 (22.2%)	2 (14.3%)	37 (25.5%)
周囲に空き家、空き地が増えたこと	1 (16.7%)	1 (5.0%)	4 (19.0%)	4 (13.8%)	8 (28.6%)	8 (29.6%)	4 (28.6%)	30 (20.7%)
地域にゴミが放置されていたり、目立つ落書きがされていること	0 (0.0%)	2 (10.0%)	2 (9.5%)	4 (13.8%)	3 (10.7%)	4 (14.8%)	2 (14.3%)	17 (11.7%)
押し売りや強引な訪問販売	0 (0.0%)	3 (15.0%)	0 (0.0%)	5 (17.2%)	2 (7.1%)	5 (18.5%)	1 (7.1%)	16 (11.0%)
繁華街での強引な客引きや勧誘	0 (0.0%)	5 (25.0%)	1 (4.8%)	2 (6.9%)	0 (0.0%)	3 (11.1%)	2 (14.3%)	13 (9.0%)
新型コロナウイルス患者や医療従事者等への嫌がらせや誹謗中傷	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)	3 (10.7%)	1 (3.7%)	3 (21.4%)	10 (6.9%)
暴力団による事件、犯罪行為	0 (0.0%)	1 (5.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	2 (7.1%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	6 (4.1%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (10.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.1%)
合計	12	56	54	68	64	77	37	368

(その他意見)

- ・ コロナ禍によるストレスでの犯罪行為
- ・ 猫の糞問題

問6-1 あなた自身の防犯意識について、伺います。

「高いと思う」と回答した割合は10.3%、「どちらかといえば高いと思う」と回答した割合は63.4%となった。



(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
高いと思う	7 (12.3%)	8 (9.1%)	15 (10.3%)
どちらかといえば高いと思う	34 (59.6%)	58 (65.9%)	92 (63.4%)
どちらかといえば低いと思う	13 (22.8%)	20 (22.7%)	33 (22.8%)
低いと思う	3 (5.3%)	2 (2.3%)	5 (3.4%)
合計	57	88	145

(2) 年代別

() 内の割合は各年代における割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
高いと思う	1 (16.7%)	6 (30.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)	1 (3.6%)	2 (7.4%)	4 (28.6%)	15 (10.3%)
どちらかといえば高いと思う	3 (50.0%)	8 (40.0%)	12 (57.1%)	18 (62.1%)	23 (82.1%)	19 (70.4%)	9 (64.3%)	92 (63.4%)
どちらかといえば低いと思う	1 (16.7%)	6 (30.0%)	8 (38.1%)	7 (24.1%)	4 (14.3%)	6 (22.2%)	1 (7.1%)	33 (22.8%)
低いと思う	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	3 (10.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (3.4%)
合計	6	20	21	29	28	27	14	145

○「高いと思う」理由(主なもの)

- ・家にいる時でも必ず施錠しており、インターホンで相手を確認してから、出るようにしている。
- ・外出時は常に周囲に気を配っているため(防犯カメラの位置の確認、周囲からの死角に入らないなど)
- ・暗い道を一人で歩かない、不審なメールはまず調べて開かないなど気をつけている。

○「どちらかといえば高いと思う」理由(主なもの)

- ・戸締りを徹底している。

- ・電話に出る時は落ち着いて、不審だと感じたらすぐに切るようにしている。
- ・留守中は、家の電気をつけたり、不審な車、人を見掛けたら必ずチェックする。
- ・家にセキュリティ会社と契約して管理してもらっている。
- ・暗い道はなるべく避けたりしている。
- ・子どもがいるので、出来る範囲気をつけている。

○「どちらかといえば低いと思う」理由（主なもの）

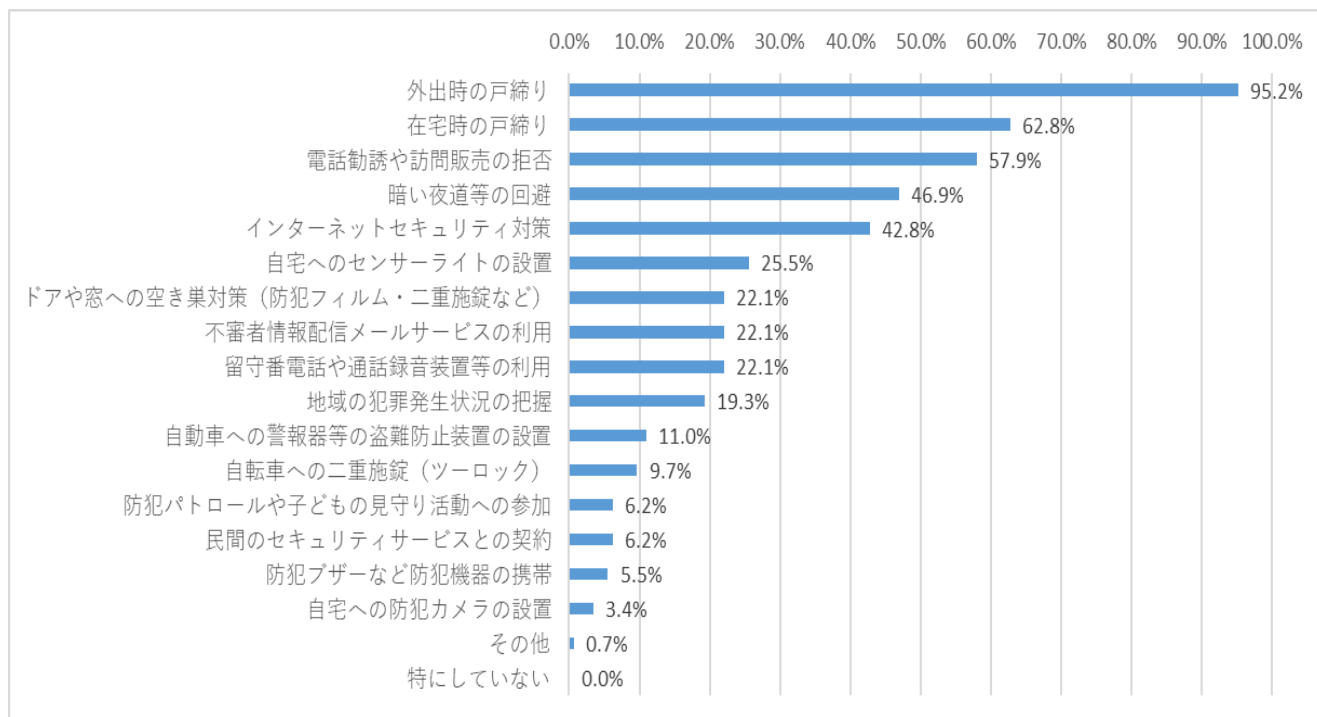
- ・特別な防犯対策をしていないため。
- ・防犯についてあまり意識をしたことがないため。
- ・自分は大丈夫だと思ってしまう。
- ・住む地域が安心なので安心しきってしまっている。
- ・帰宅時、街灯が無い所を歩いて帰宅するので。
- ・家の施錠をしなくても過ごしてしまうことがある。

○「低いと思う」理由（主なもの）

- ・近所で顔見知りが増えて危険意識は低くなっているから。
- ・意識したことがない。
- ・家の鍵を掛けないところ。

問7 あなたの家庭で日頃から取り組んでいる防犯対策は何ですか。(選択はいくつでも)

- ・「外出時の戸締り」が138人(95.2%)と最も高く、次いで「在宅時の戸締り」91人(62.8%)、「電話勧誘や訪問販売の拒否」84人(57.9%)となった。
- ・男女別にみると、「暗い夜道等の回避」は、男性が11人(19.3%)であるのに対し、女性は57人(64.8%)と高くなっている。



(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
外出時の戸締り	53 (93.0%)	85 (96.6%)	138 (95.2%)
在宅時の戸締り	35 (61.4%)	56 (63.6%)	91 (62.8%)
電話勧誘や訪問販売の拒否	30 (52.6%)	54 (61.4%)	84 (57.9%)
暗い夜道等の回避	11 (19.3%)	57 (64.8%)	68 (46.9%)
インターネットセキュリティ対策	22 (38.6%)	40 (45.5%)	62 (42.8%)
自宅へのセンサーライトの設置	13 (22.8%)	24 (27.3%)	37 (25.5%)
ドアや窓への空き巣対策(防犯フィルム・二重施錠など)	15 (26.3%)	17 (19.3%)	32 (22.1%)
不審者情報配信メールサービスの利用	8 (14.0%)	24 (27.3%)	32 (22.1%)
留守番電話や通話録音装置等の利用	9 (15.8%)	23 (26.1%)	32 (22.1%)
地域の犯罪発生状況の把握	12 (21.1%)	16 (18.2%)	28 (19.3%)
自動車への警報器等の盗難防止装置の設置	5 (8.8%)	11 (12.5%)	16 (11.0%)
自転車への二重施錠(ツーロック)	4 (7.0%)	10 (11.4%)	14 (9.7%)
防犯パトロールや子どもの見守り活動への参加	2 (3.5%)	7 (8.0%)	9 (6.2%)
民間のセキュリティサービスとの契約	5 (8.8%)	4 (4.5%)	9 (6.2%)
防犯ブザーなど防犯機器の携帯	2 (3.5%)	6 (6.8%)	8 (5.5%)
自宅への防犯カメラの設置	0 (0.0%)	5 (5.7%)	5 (3.4%)
その他	0 (0.0%)	1 (1.1%)	1 (0.7%)
特にしていない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	226	440	666

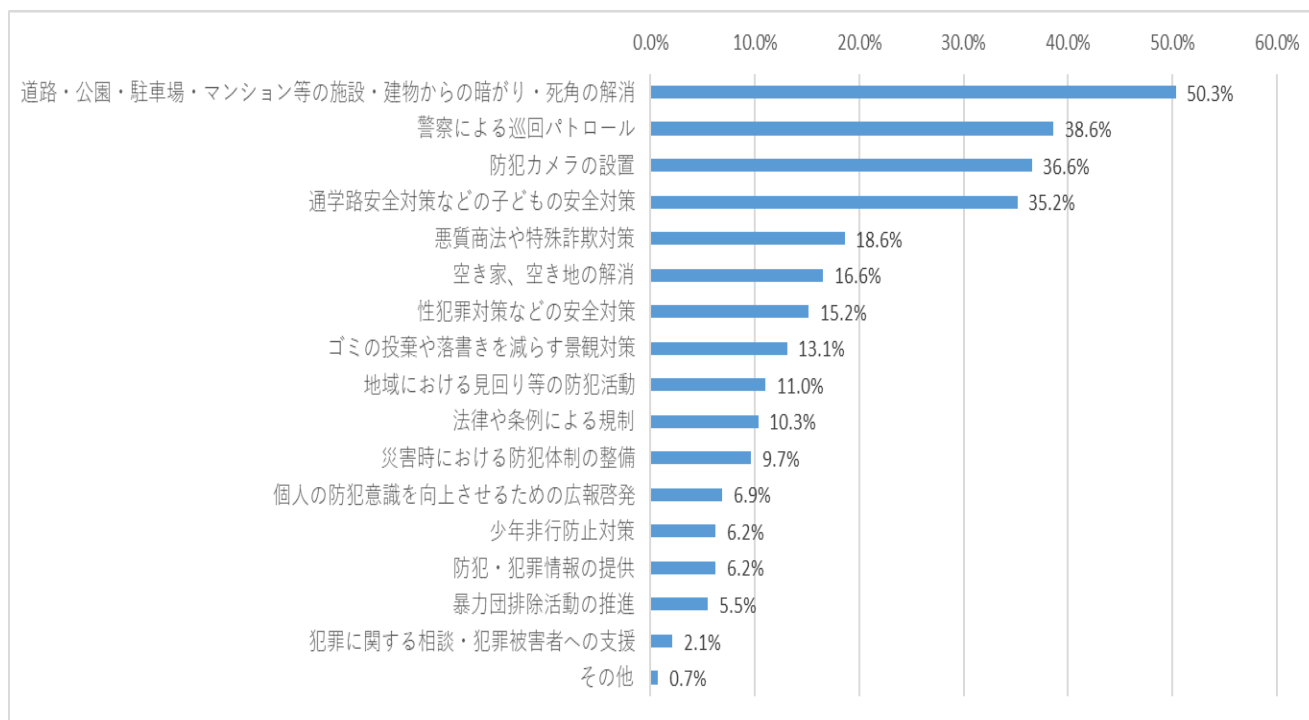
(2) 年代別

() 内の割合は各年代における割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
外出時の戸締り	6 (100.0%)	18 (90.0%)	20 (95.2%)	26 (89.7%)	28 (100.0%)	26 (96.3%)	14 (100.0%)	138 (95.2%)
在宅時の戸締り	4 (66.7%)	15 (75.0%)	10 (47.6%)	22 (75.9%)	17 (60.7%)	17 (63.0%)	6 (42.9%)	91 (62.8%)
電話勧誘や訪問販売の拒否	3 (50.0%)	13 (65.0%)	9 (42.9%)	19 (65.5%)	13 (46.4%)	17 (63.0%)	10 (71.4%)	84 (57.9%)
暗い夜道等の回避	3 (50.0%)	13 (65.0%)	13 (61.9%)	10 (34.5%)	9 (32.1%)	16 (59.3%)	4 (28.6%)	68 (46.9%)
インターネットセキュリティ対策	3 (50.0%)	7 (35.0%)	9 (42.9%)	10 (34.5%)	13 (46.4%)	11 (40.7%)	9 (64.3%)	62 (42.8%)
自宅へのセンサーライトの設置	1 (16.7%)	1 (5.0%)	5 (23.8%)	10 (34.5%)	9 (32.1%)	9 (33.3%)	2 (14.3%)	37 (25.5%)
ドアや窓への空き巣対策 (防犯フィルム・二重施錠など)	1 (16.7%)	2 (10.0%)	4 (19.0%)	5 (17.2%)	9 (32.1%)	5 (18.5%)	6 (42.9%)	32 (22.1%)
不審者情報配信メールサービスの利用	0 (0.0%)	5 (25.0%)	5 (23.8%)	10 (34.5%)	6 (21.4%)	3 (11.1%)	3 (21.4%)	32 (22.1%)
留守番電話や通話録音装置等の利用	0 (0.0%)	7 (35.0%)	2 (9.5%)	3 (10.3%)	7 (25.0%)	9 (33.3%)	4 (28.6%)	32 (22.1%)
地域の犯罪発生状況の把握	1 (16.7%)	4 (20.0%)	6 (28.6%)	8 (27.6%)	1 (3.6%)	3 (11.1%)	5 (35.7%)	28 (19.3%)
自動車への警報器等の盗難防止装置の設置	0 (0.0%)	3 (15.0%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)	3 (10.7%)	6 (22.2%)	2 (14.3%)	16 (11.0%)
自転車への二重施錠 (ツーロック)	1 (16.7%)	2 (10.0%)	2 (9.5%)	2 (6.9%)	3 (10.7%)	3 (11.1%)	1 (7.1%)	14 (9.7%)
防犯パトロールや子どもの見守り活動への参加	0 (0.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	6 (20.7%)	2 (7.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (6.2%)
民間のセキュリティサービスとの契約	0 (0.0%)	2 (10.0%)	1 (4.8%)	2 (6.9%)	1 (3.6%)	1 (3.7%)	2 (14.3%)	9 (6.2%)
防犯ブザーなど防犯機器の携帯	1 (16.7%)	2 (10.0%)	2 (9.5%)	2 (6.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	8 (5.5%)
自宅への防犯カメラの設置	0 (0.0%)	3 (15.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	5 (3.4%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)
特にしていない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	24	98	88	138	122	127	69	666

問8 安全で安心して暮らすためには、どのような取組が強化されればよいと思いますか。(選択は3つまで)

・「道路・公園・駐車場・マンション等の施設・建物からの暗がり・死角の解消」が73人(50.3%)と最も高く、次いで「警察による巡回パトロール」56人(38.6%)、「防犯カメラの設置」53人(36.6%)となった。
 ・男女別に見ると、「道路・公園・駐車場・マンション等の施設・建物からの暗がり・死角の解消」は、男性23人(40.4%)に対し、女性は50人(56.8%)、「防犯カメラの設置」は、男性16人(28.1%)に対し、女性37人(42.0%)と、女性が高くなっている。



(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
道路・公園・駐車場・マンション等の施設・建物からの暗がり・死角の解消	23 (40.4%)	50 (56.8%)	73 (50.3%)
警察による巡回パトロール	22 (38.6%)	34 (38.6%)	56 (38.6%)
防犯カメラの設置	16 (28.1%)	37 (42.0%)	53 (36.6%)
通学路安全対策などの子どもの安全対策	22 (38.6%)	29 (33.0%)	51 (35.2%)
悪質商法や特殊詐欺対策	13 (22.8%)	14 (15.9%)	27 (18.6%)
空き家、空き地の解消	12 (21.1%)	12 (13.6%)	24 (16.6%)
性犯罪対策などの安全対策	4 (7.0%)	18 (20.5%)	22 (15.2%)
ゴミの投棄や落書きを減らす景観対策	10 (17.5%)	9 (10.2%)	19 (13.1%)
地域における見回り等の防犯活動	6 (10.5%)	10 (11.4%)	16 (11.0%)
法律や条例による規制	7 (12.3%)	8 (9.1%)	15 (10.3%)
災害時における防犯体制の整備	2 (3.5%)	12 (13.6%)	14 (9.7%)
個人の防犯意識を向上させるための広報啓発	7 (12.3%)	3 (3.4%)	10 (6.9%)
少年非行防止対策	4 (7.0%)	5 (5.7%)	9 (6.2%)
防犯・犯罪情報の提供	4 (7.0%)	5 (5.7%)	9 (6.2%)
暴力団排除活動の推進	5 (8.8%)	3 (3.4%)	8 (5.5%)
犯罪に関する相談・犯罪被害者への支援	1 (1.8%)	2 (2.3%)	3 (2.1%)
その他	0 (0.0%)	1 (1.1%)	1 (0.7%)
合計	158	252	410

(2) 年代別

() 内の割合は各年代における割合

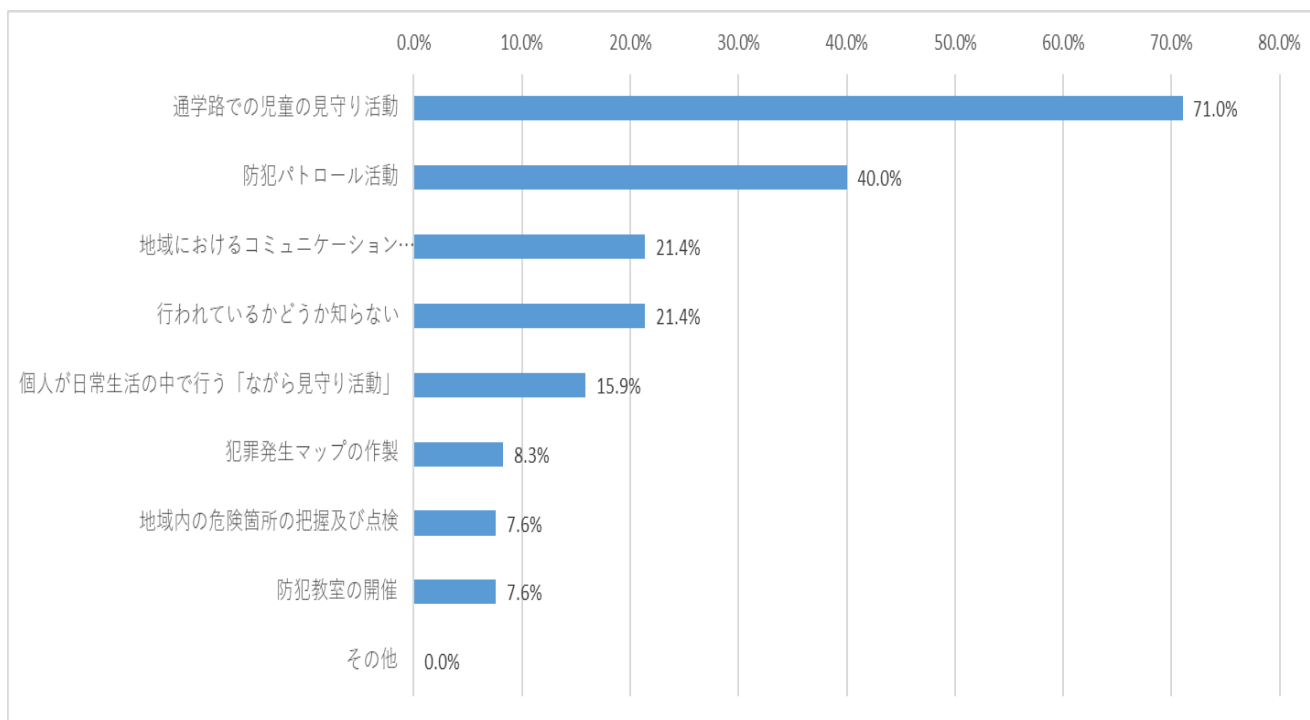
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
道路・公園・駐車場・マンション等の施設・建物からの暗がり・死角の解消	3 (50.0%)	16 (80.0%)	10 (47.6%)	12 (41.4%)	14 (50.0%)	13 (48.1%)	5 (35.7%)	73 (50.3%)
警察による巡回パトロール	1 (16.7%)	9 (45.0%)	8 (38.1%)	9 (31.0%)	10 (35.7%)	12 (44.4%)	7 (50.0%)	56 (38.6%)
防犯カメラの設置	0 (0.0%)	10 (50.0%)	4 (19.0%)	13 (44.8%)	14 (50.0%)	9 (33.3%)	3 (21.4%)	53 (36.6%)
通学路安全対策などの子どもの安全対策	1 (16.7%)	4 (20.0%)	11 (52.4%)	14 (48.3%)	10 (35.7%)	7 (25.9%)	4 (28.6%)	51 (35.2%)
悪質商法や特殊詐欺対策	3 (50.0%)	1 (5.0%)	3 (14.3%)	4 (13.8%)	2 (7.1%)	6 (22.2%)	8 (57.1%)	27 (18.6%)
空き家、空き地の解消	1 (16.7%)	2 (10.0%)	3 (14.3%)	4 (13.8%)	2 (7.1%)	9 (33.3%)	3 (21.4%)	24 (16.6%)
性犯罪対策などの安全対策	0 (0.0%)	4 (20.0%)	7 (33.3%)	5 (17.2%)	3 (10.7%)	2 (7.4%)	1 (7.1%)	22 (15.2%)
ゴミの投棄や落書きを減らす景観対策	1 (16.7%)	2 (10.0%)	4 (19.0%)	5 (17.2%)	2 (7.1%)	2 (7.4%)	3 (21.4%)	19 (13.1%)
地域における見回り等の防犯活動	0 (0.0%)	3 (15.0%)	2 (9.5%)	4 (13.8%)	3 (10.7%)	2 (7.4%)	2 (14.3%)	16 (11.0%)
法律や条例による規制	0 (0.0%)	3 (15.0%)	1 (4.8%)	4 (13.8%)	3 (10.7%)	3 (11.1%)	1 (7.1%)	15 (10.3%)
災害時における防犯体制の整備	2 (33.3%)	1 (5.0%)	1 (4.8%)	1 (3.4%)	3 (10.7%)	4 (14.8%)	2 (14.3%)	14 (9.7%)
個人の防犯意識を向上させるための広報啓発	1 (16.7%)	1 (5.0%)	1 (4.8%)	1 (3.4%)	1 (3.6%)	4 (14.8%)	1 (7.1%)	10 (6.9%)
少年非行防止対策	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (19.0%)	2 (6.9%)	1 (3.6%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	9 (6.2%)
防犯・犯罪情報の提供	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)	5 (17.9%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	9 (6.2%)
暴力団排除活動の推進	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	2 (6.9%)	1 (3.6%)	3 (11.1%)	0 (0.0%)	8 (5.5%)
犯罪に関する相談・犯罪被害者への支援	0 (0.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (7.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.1%)
その他	0 (0.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)
合計	15	58	60	82	76	79	40	410

(その他意見)

・誰一人取り残さない・疎外しない社会の仕組み作りと、犯罪者の救済制度

問9 地域における防犯活動として、あなたが知っている住んでいる地域で行われているものをすべて選択してください。

「通学路での児童の見守り活動」が103人（71.0%）と最も高く、次いで「防犯パトロール活動」58人（40.0%）、「地域におけるコミュニケーション」31人（21.4%）となった。「行われているかどうか知らない」の回答も31人（21.4%）あり、市内で行われている地域防犯活動の周知・啓発も必要であると考えられる。



※「ながら見守り活動」…ウォーキング、買い物、犬の散歩、花の水やり等の日常生活を行う際、防犯の視点を持って地域の見守りを行うもの。

(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
通学路での児童の見守り活動	40 (70.2%)	63 (71.6%)	103 (71.0%)
防犯パトロール活動	19 (33.3%)	39 (44.3%)	58 (40.0%)
地域におけるコミュニケーション (高齢者宅訪問、あいさつ、声かけ など)	12 (21.1%)	19 (21.6%)	31 (21.4%)
行われているかどうか知らない	15 (26.3%)	16 (18.2%)	31 (21.4%)
個人が日常生活の中で行う「ながら見守り活動」	7 (12.3%)	16 (18.2%)	23 (15.9%)
犯罪発生マップの作製	3 (5.3%)	9 (10.2%)	12 (8.3%)
地域内の危険箇所の把握及び点検	7 (12.3%)	4 (4.5%)	11 (7.6%)
防犯教室の開催	1 (1.8%)	10 (11.4%)	11 (7.6%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	104	176	280

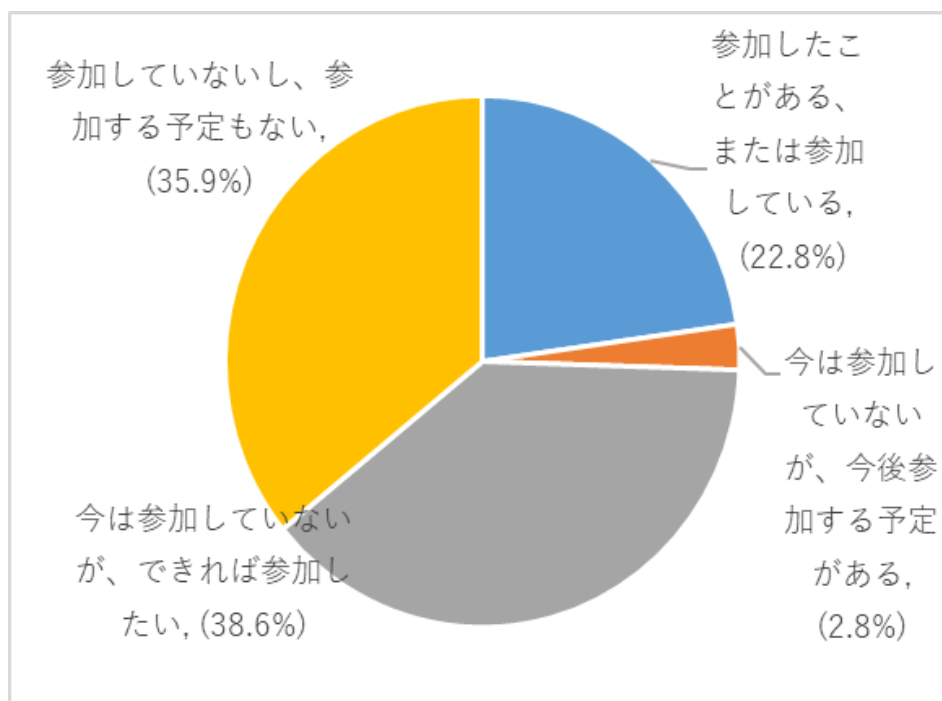
(2) 年代別

() 内の割合は各年代における割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
通学路での児童の見守り活動	4 (66.7%)	12 (60.0%)	13 (61.9%)	20 (69.0%)	23 (82.1%)	19 (70.4%)	12 (85.7%)	103 (71.0%)
防犯パトロール活動	3 (50.0%)	8 (40.0%)	8 (38.1%)	10 (34.5%)	9 (32.1%)	12 (44.4%)	8 (57.1%)	58 (40.0%)
地域におけるコミュニケーション (高齢者宅訪問、あいさつ、声かけ など)	1 (16.7%)	2 (10.0%)	3 (14.3%)	6 (20.7%)	5 (17.9%)	8 (29.6%)	6 (42.9%)	31 (21.4%)
行われているかどうか知らない	2 (33.3%)	6 (30.0%)	5 (23.8%)	8 (27.6%)	2 (7.1%)	5 (18.5%)	3 (21.4%)	31 (21.4%)
個人が日常生活の中で行う「ながら見守り活動」	0 (0.0%)	2 (10.0%)	4 (19.0%)	4 (13.8%)	4 (14.3%)	7 (25.9%)	2 (14.3%)	23 (15.9%)
犯罪発生マップの作製	0 (0.0%)	3 (15.0%)	2 (9.5%)	3 (10.3%)	2 (7.1%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	12 (8.3%)
地域内の危険箇所の把握及び点検	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	1 (3.4%)	2 (7.1%)	3 (11.1%)	4 (28.6%)	11 (7.6%)
防犯教室の開催	2 (33.3%)	2 (10.0%)	2 (9.5%)	2 (6.9%)	2 (7.1%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	11 (7.6%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	12	35	38	54	49	57	35	280

問 10-1 あなたは、地域で行われている防犯活動に参加したことがありますか。

今は参加していない（予定なしを含む。）人が 108 人（74.5%）で実際に防犯活動に携わっている人は少ない。一方で「今は参加していないが、できれば参加したい」と回答している人が 56 人（38.6%）となっており、参加に意欲がある人を地域防犯活動に取り込むことが、防犯活動の活性化に繋がると考えられる。



(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
参加したことがある、または参加している	8 (14.0%)	25 (28.4%)	33 (22.8%)
今は参加していないが、今後参加する予定がある	2 (3.5%)	2 (2.3%)	4 (2.8%)
今は参加していないが、できれば参加したい	24 (42.1%)	32 (36.4%)	56 (38.6%)
参加していないし、参加する予定もない	23 (40.4%)	29 (33.0%)	52 (35.9%)
合計	57	88	145

(2) 年代別

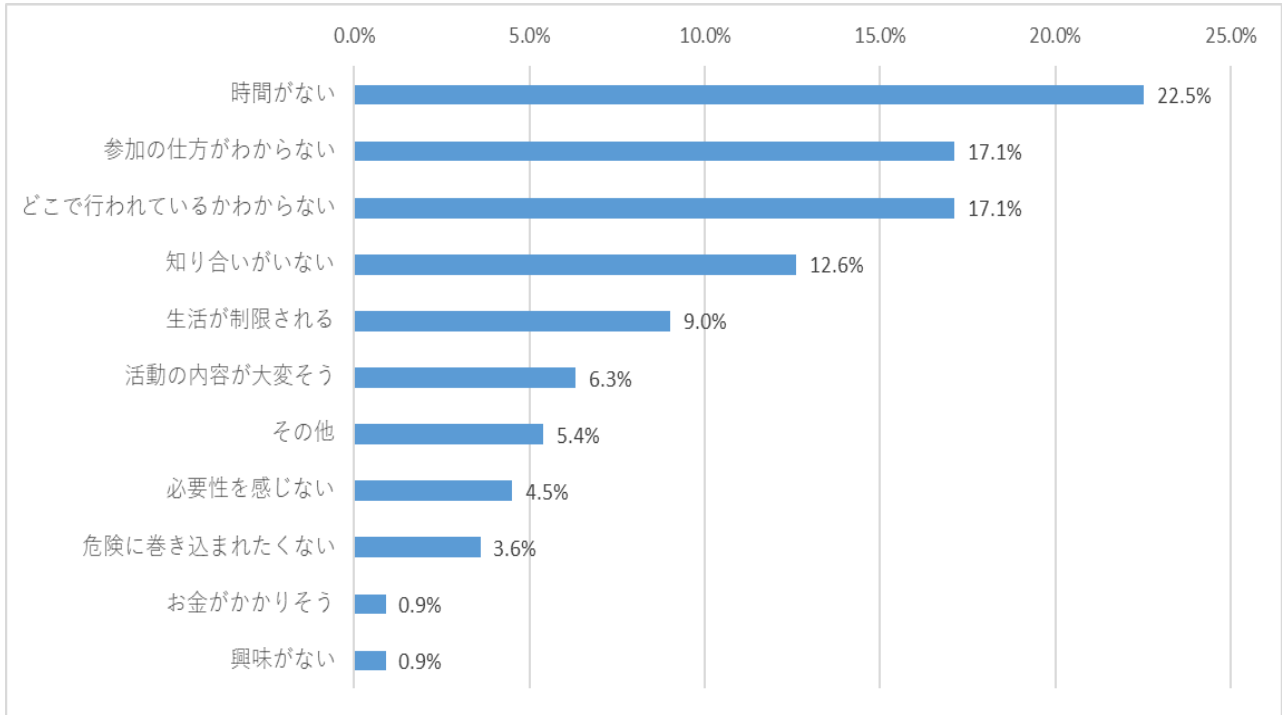
() 内の割合は各年代における割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
参加したことがある、または参加している	1 (16.7%)	1 (5.0%)	2 (9.5%)	12 (41.4%)	7 (25.0%)	7 (25.9%)	3 (21.4%)	33 (22.8%)
今は参加していないが、今後参加する予定がある	0 (0.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.6%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	4 (2.8%)
今は参加していないが、できれば参加したい	3 (50.0%)	9 (45.0%)	12 (57.1%)	7 (24.1%)	11 (39.3%)	7 (25.9%)	7 (50.0%)	56 (38.6%)
参加していないし、参加する予定もない	2 (33.3%)	9 (45.0%)	7 (33.3%)	10 (34.5%)	9 (32.1%)	13 (48.1%)	2 (14.3%)	52 (35.9%)
合計	6	20	21	29	28	27	14	145

問 10-2 問 10-1 で「参加していないし、参加する予定もない」を選択した理由は何ですか。（選択は3つまで）

「時間がない」が25人（22.5%）で最も多く、次いで「参加の仕方がわからない」19人（17.1%）、「どこで行われているかわからない」19人（17.1%）となった。

各地域での活動状況や参加方法等を知らせるとともに、気軽に実施できる防犯活動として市が実施している「ながら見守り」活動の防犯ボランティア事業もより一層周知していく必要があると考えられる。



(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
時間がない	12 (25.0%)	13 (20.6%)	25 (22.5%)
参加の仕方がわからない	10 (20.8%)	9 (14.3%)	19 (17.1%)
どこで行われているかわからない	9 (18.8%)	10 (15.9%)	19 (17.1%)
知り合いがいない	4 (8.3%)	10 (15.9%)	14 (12.6%)
生活が制限される	2 (4.2%)	8 (12.7%)	10 (9.0%)
活動の内容が大変そう	4 (8.3%)	3 (4.8%)	7 (6.3%)
その他	3 (6.3%)	3 (4.8%)	6 (5.4%)
必要性を感じない	2 (4.2%)	3 (4.8%)	5 (4.5%)
危険に巻き込まれたくない	1 (2.1%)	3 (4.8%)	4 (3.6%)
お金がかかりそう	1 (2.1%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)
興味がない	0 (0.0%)	1 (1.6%)	1 (0.9%)
合計	48	63	111

(2) 年代別

() 内の割合は各年代における割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
時間がない	2 (40.0%)	5 (27.8%)	3 (16.7%)	5 (22.7%)	3 (20.0%)	6 (21.4%)	1 (20.0%)	25 (22.5%)
参加の仕方がわからない	1 (20.0%)	2 (11.1%)	4 (22.2%)	3 (13.6%)	3 (20.0%)	5 (17.9%)	1 (20.0%)	19 (17.1%)
どこで行われているかわからない	1 (20.0%)	3 (16.7%)	2 (11.1%)	3 (13.6%)	2 (13.3%)	7 (25.0%)	1 (20.0%)	19 (17.1%)
知り合いがない	0 (0.0%)	4 (22.2%)	3 (16.7%)	3 (13.6%)	2 (13.3%)	2 (7.1%)	0 (0.0%)	14 (12.6%)
生活が制限される	0 (0.0%)	2 (11.1%)	3 (16.7%)	1 (4.5%)	1 (6.7%)	3 (10.7%)	0 (0.0%)	10 (9.0%)
活動の内容が大変そう	1 (20.0%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	2 (9.1%)	1 (6.7%)	1 (3.6%)	0 (0.0%)	7 (6.3%)
その他	0 (0.0%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	1 (4.5%)	1 (6.7%)	1 (3.6%)	1 (20.0%)	6 (5.4%)
必要性を感じない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (9.1%)	2 (13.3%)	1 (3.6%)	0 (0.0%)	5 (4.5%)
危険に巻き込まれたくない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (7.1%)	1 (20.0%)	4 (3.6%)
お金がかかりそう	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)
興味がない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)
合計	5	18	18	22	15	28	5	111

(その他意見)

- ・子どもが小さいので、今のところ考えられない。
- ・高齢者で、犯罪に巻き込まれた時、逆に迷惑をかける気がする。
- ・自治会などで、半強制的にそういった活動に参加させられる場合があり、半強制的にやらされているのでまともに活動していない。
- ・参加するきっかけがない。
- ・町内会の輪番で対応すればよいと思うから（現職のうちに進んで活動することは不可能だから）

問 10-3 防犯活動に参加する場合、参加しやすい時間帯・曜日をお聞かせください。

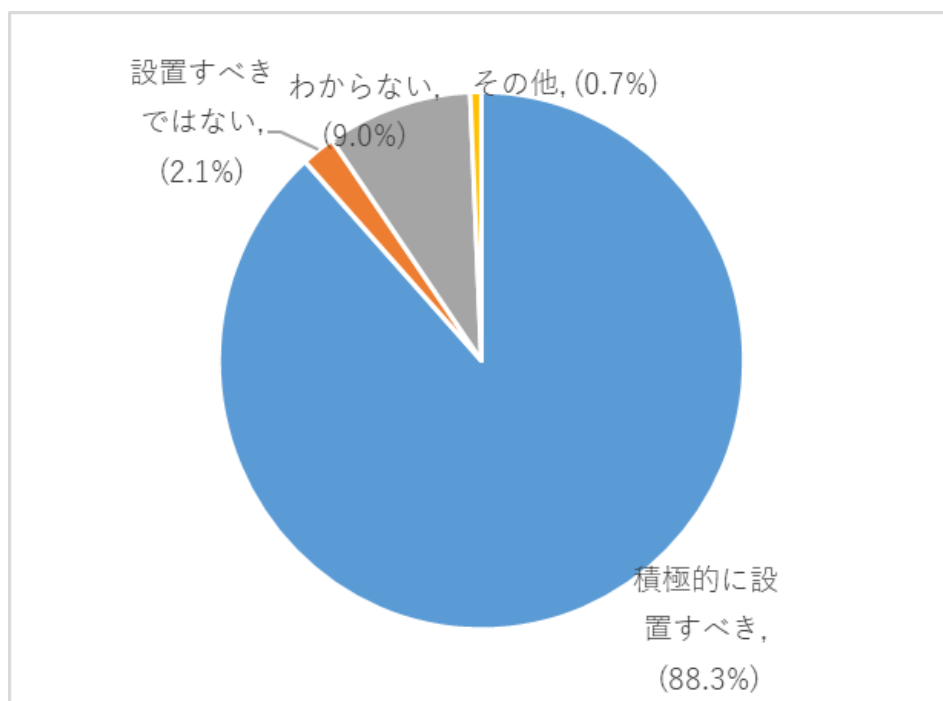
○回答が多かった参加しやすい時間帯・曜日

- ・土日祝日（いずれかの曜日のみも含む） 45人

問 11-1 あなたは、公共の場所に防犯カメラを設置することについて、どのように思いますか。

「積極的に設置すべき」が 128 人（88.3%）で、犯罪抑止や事件発生後の早期解決に結びつく効果を期待する意見が多い。

一方で、プライバシーにも配慮すべきという意見もあり、犯罪抑止効果とプライバシー保護のバランスが求められていると考えられる。



() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
積極的に設置すべき	47 (82.5%)	81 (92.0%)	128 (88.3%)
設置すべきではない	2 (3.5%)	1 (1.1%)	3 (2.1%)
わからない	7 (12.3%)	6 (6.8%)	13 (9.0%)
その他	1 (1.8%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)
合計	57	88	145

(その他意見)

- ・配置すべきだがどんな場所にもやたらと設置してよいとは思わない

○積極的に設置すべき理由（主なもの）

- ・犯罪の抑止力につながる。
- ・犯罪が起きた時なども犯人逮捕に繋がりやすい。

○設置すべきでない理由（主なもの）

- ・防犯カメラが直接的に犯罪を抑えているわけではない（後追い、または、既知の防犯カメラは犯罪者側も手立てを打つので）。
- ・既にかかなりの台数のカメラが設置されているが、監視社会を連想する。

○わからない理由（主なもの）

- ・防犯カメラがあることで安心できる面と、自分の行動も含めて見られていることの窮屈さが混在している。

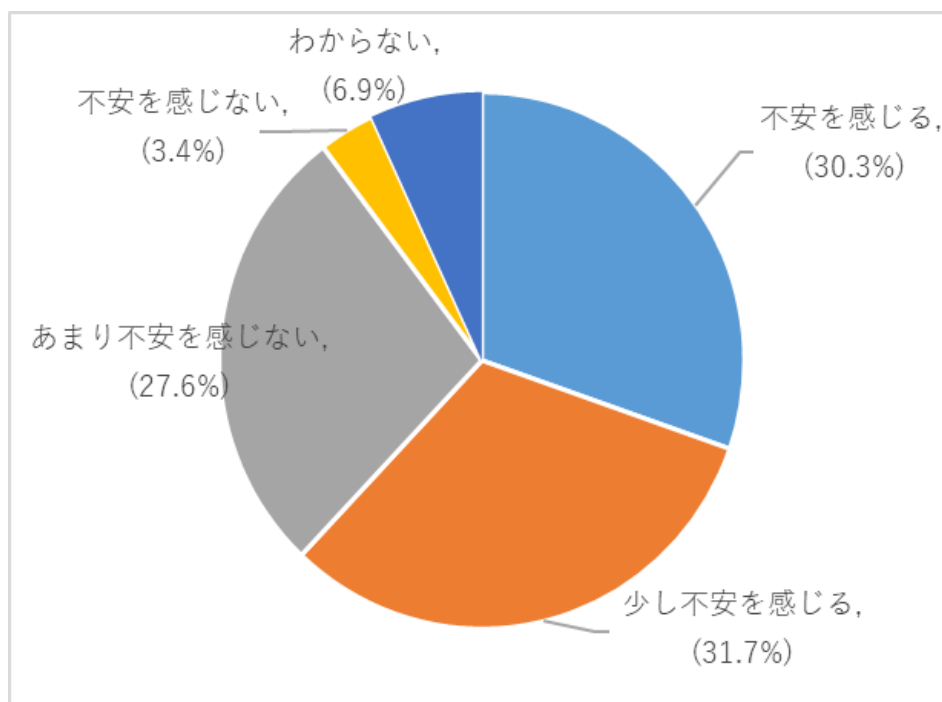
- 防犯カメラが本当に犯罪の抑止になるのか公共の場所でも違ってくる。
- 事件の解決には役立つが、個人のプライバシーの問題もあり一概には判断できない。
- 防犯カメラがあれば、犯罪行動の抑止になるかもしれないが、カメラの存在自体が、治安の悪い雰囲気を作ってしまうのではないか。

○その他の理由（主なもの）

- 防犯には役立つがプライバシーの侵害にならないよう配慮が必要。

問 12 あなたは、静岡市内に存在する暴力団についてどのように感じますか。

「不安を感じる」が44人(30.3%)「少し不安を感じる」が46人(31.7%)で半数を超える人が暴力団に対して不安を感じている。



(1) 男女別

()内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
不安を感じる	22 (38.6%)	22 (25.0%)	44 (30.3%)
少し不安を感じる	18 (31.6%)	28 (31.8%)	46 (31.7%)
あまり不安を感じない	12 (21.1%)	28 (31.8%)	40 (27.6%)
不安を感じない	3 (5.3%)	2 (2.3%)	5 (3.4%)
わからない	2 (3.5%)	8 (9.1%)	10 (6.9%)
合計	57	88	145

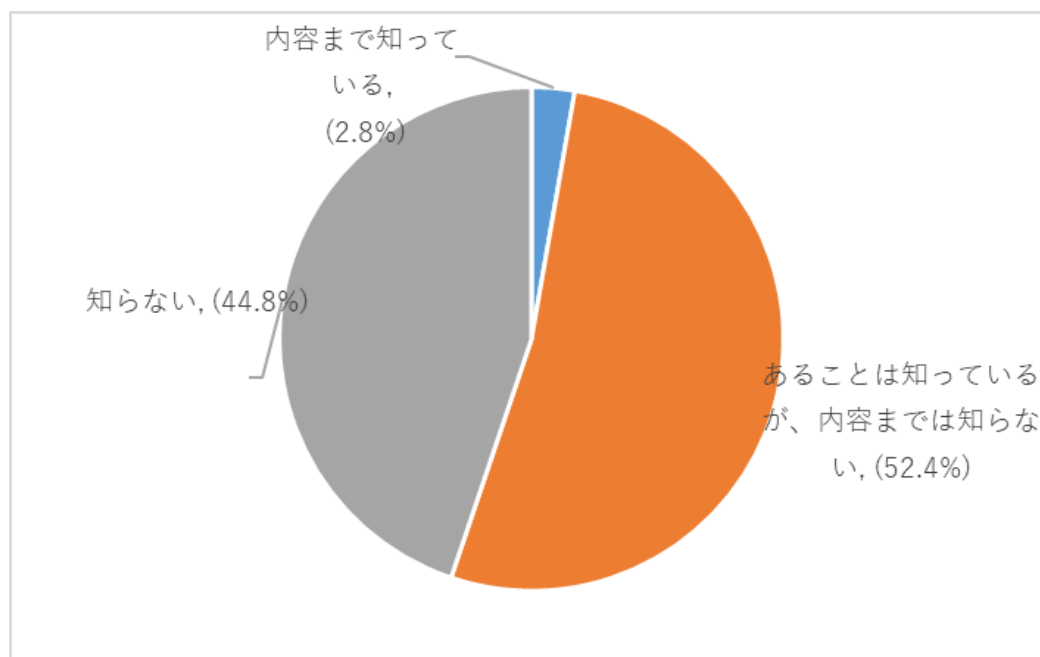
(2) 年代別

()内の割合は各年代における割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
不安を感じる	4 (66.7%)	8 (40.0%)	4 (19.0%)	7 (24.1%)	7 (25.0%)	9 (33.3%)	5 (35.7%)	44 (30.3%)
少し不安を感じる	1 (16.7%)	6 (30.0%)	11 (52.4%)	6 (20.7%)	9 (32.1%)	8 (29.6%)	5 (35.7%)	46 (31.7%)
あまり不安を感じない	0 (0.0%)	5 (25.0%)	5 (23.8%)	14 (48.3%)	10 (35.7%)	4 (14.8%)	2 (14.3%)	40 (27.6%)
不安を感じない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	2 (7.1%)	1 (3.7%)	1 (7.1%)	5 (3.4%)
わからない	1 (16.7%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)	0 (0.0%)	5 (18.5%)	1 (7.1%)	10 (6.9%)
合計	6	20	21	29	28	27	14	145

問 13 あなたは「静岡市暴力団排除条例」を知っていますか。

「知らない」と回答した割合が 44.8%で半数近くが条例について知らないことから、条例や暴力団排除に関する取組について広く周知していく必要があると考えられる。



(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
内容まで知っている	2 (3.5%)	2 (2.3%)	4 (2.8%)
あることは知っているが、内容までは知らない	32 (56.1%)	44 (50.0%)	76 (52.4%)
知らない	23 (40.4%)	42 (47.7%)	65 (44.8%)
合計	57	88	145

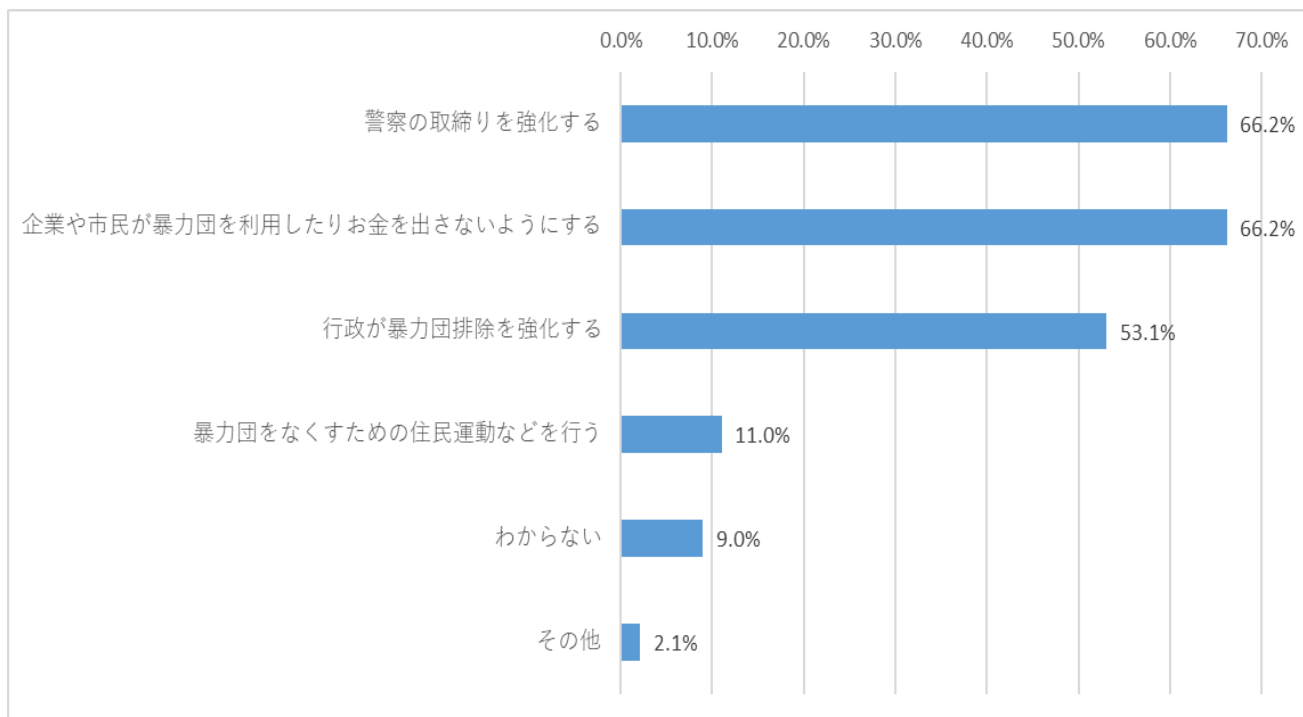
(2) 年代別

() 内の割合は各性別における割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
内容まで知っている	0 (0.0%)	2 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	4 (2.8%)
あることは知っているが、内容までは知らない	3 (50.0%)	7 (35.0%)	10 (47.6%)	17 (58.6%)	12 (42.9%)	13 (48.1%)	14 (100.0%)	76 (52.4%)
知らない	3 (50.0%)	11 (55.0%)	11 (52.4%)	12 (41.4%)	16 (57.1%)	12 (44.4%)	0 (0.0%)	65 (44.8%)
合計	6	20	21	29	28	27	14	145

問 14 暴力団排除に向けての対策として、どのような取組みが強化されればよいと思いますか。（選択はいくつでも）

「警察の取締りを強化する」、「企業が市民や暴力団を利用したりお金を出さないようにする」がともに 96 人（66.2%）で最も高く、次いで「行政が暴力団排除を推進する」が 77 人（53.1%）であった。引き続き市・警察・企業・住民が一体となって、暴力団排除を推進していく必要があると考えられる。



(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
警察の取締りを強化する	42 (73.7%)	54 (61.4%)	96 (66.2%)
企業や市民が暴力団を利用したりお金を出さないようにする	31 (54.4%)	65 (73.9%)	96 (66.2%)
行政が暴力団排除を強化する	29 (50.9%)	48 (54.5%)	77 (53.1%)
暴力団をなくすための住民運動などを行う	9 (15.8%)	7 (8.0%)	16 (11.0%)
わからない	7 (12.3%)	6 (6.8%)	13 (9.0%)
その他	1 (1.8%)	2 (2.3%)	3 (2.1%)
合計	119	182	301

(2) 年代別

() 内の割合は各年代における割合

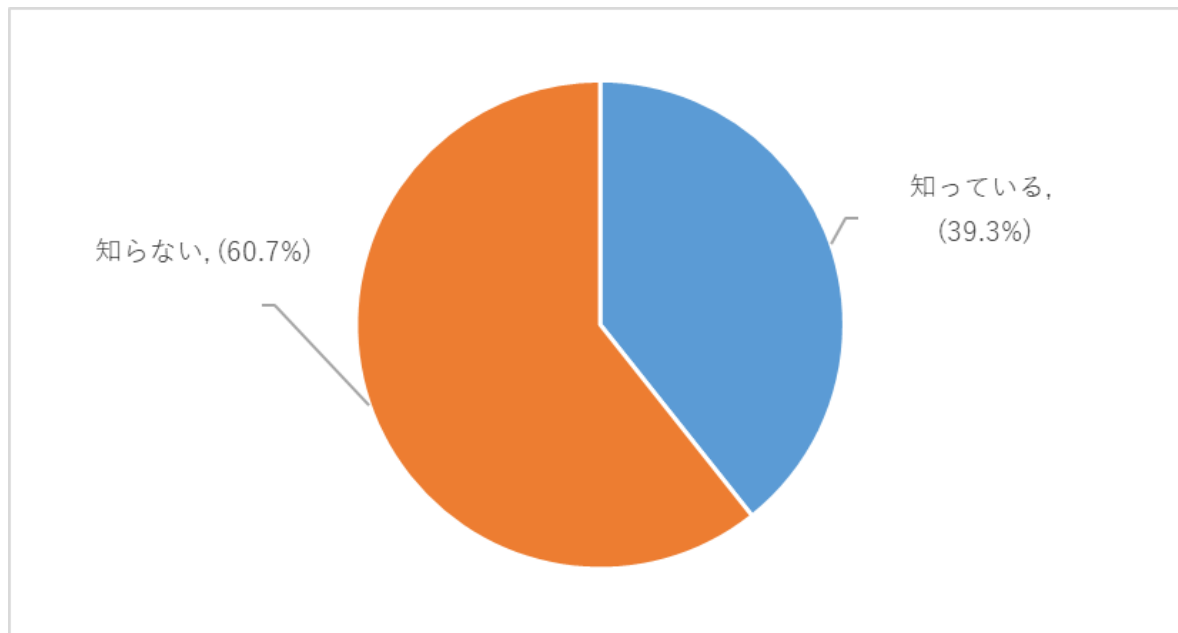
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
警察の取締りを強化する	5 (83.3%)	15 (75.0%)	13 (61.9%)	18 (62.1%)	14 (50.0%)	20 (74.1%)	11 (78.6%)	96 (66.2%)
企業や市民が暴力団を利用したりお金を出さないようにする	4 (66.7%)	16 (80.0%)	11 (52.4%)	21 (72.4%)	19 (67.9%)	16 (59.3%)	9 (64.3%)	96 (66.2%)
行政が暴力団排除を強化する	4 (66.7%)	12 (60.0%)	13 (61.9%)	12 (41.4%)	13 (46.4%)	14 (51.9%)	9 (64.3%)	77 (53.1%)
暴力団をなくすための住民運動などを行う	0 (0.0%)	2 (10.0%)	1 (4.8%)	2 (6.9%)	1 (3.6%)	5 (18.5%)	5 (35.7%)	16 (11.0%)
わからない	0 (0.0%)	1 (5.0%)	2 (9.5%)	4 (13.8%)	4 (14.3%)	1 (3.7%)	1 (7.1%)	13 (9.0%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (7.4%)	1 (7.1%)	3 (2.1%)
合計	13	46	40	57	51	58	36	301

(その他意見)

- 暴力団の中でしか生活できない人の気持ちを知り、抜ける手助けの方法を探す。
- 暴力団員に普通の就職先を見つけて、就職してもらい、暴力団員を減らしていく。
- 権力者が暴力団やそれに類する団体組織を育てたり宣伝したり利用するのが最大の問題。

問15 あなたは、「犯罪被害者等基本法」に基づき、国、地方公共団体や民間支援団体において、犯罪被害者等への支援の取組みが進められていることを知っていますか。

「知らない」が88人（60.7%）で半数を超え、特に20代及び30代で「知らない」と答えた割合が他の世代に比べて高かった。



(1) 男女別

() 内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
知っている	26 (45.6%)	31 (35.2%)	57 (39.3%)
知らない	31 (54.4%)	57 (64.8%)	88 (60.7%)
合計	57	88	145

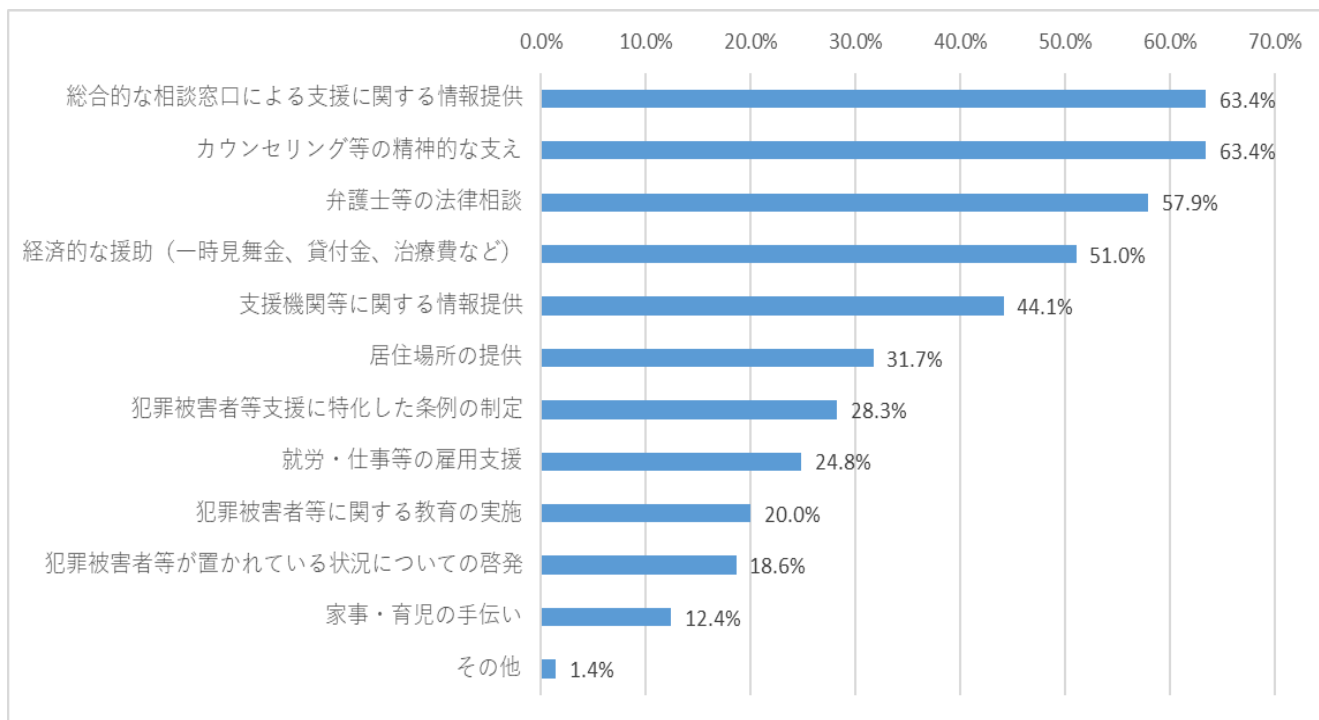
(2) 年代別

() 内の割合は各年代における割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
知っている	2 (33.3%)	5 (25.0%)	3 (14.3%)	11 (37.9%)	11 (39.3%)	14 (51.9%)	11 (78.6%)	57 (39.3%)
知らない	4 (66.7%)	15 (75.0%)	18 (85.7%)	18 (62.1%)	17 (60.7%)	13 (48.1%)	3 (21.4%)	88 (60.7%)
合計	6	20	21	29	28	27	14	145

問 16 犯罪被害者等への支援策として、どのような取組が強化されればよいと思いますか。（選択はいくつでも）

「総合的な相談窓口による支援に関する情報提供」、「カウンセリング等の精神的な支え」がともに 92 人（63.4%）と最も高く、次いで「弁護士等の法律相談」84 人（57.9%）、「経済的な援助」74 人（51.0%）となった。犯罪被害者等に対して、精神的、経済的など幅広い視点での支援が必要であると考えられる。



（ ）内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
総合的な相談窓口による支援に関する情報提供	39 (68.4%)	53 (60.2%)	92 (63.4%)
カウンセリング等の精神的な支え	31 (54.4%)	61 (69.3%)	92 (63.4%)
弁護士等の法律相談	35 (61.4%)	49 (55.7%)	84 (57.9%)
経済的な援助（一時見舞金、貸付金、治療費など）	26 (45.6%)	48 (54.5%)	74 (51.0%)
支援機関等に関する情報提供	21 (36.8%)	43 (48.9%)	64 (44.1%)
居住場所の提供	17 (29.8%)	29 (33.0%)	46 (31.7%)
犯罪被害者等支援に特化した条例の制定	19 (33.3%)	22 (25.0%)	41 (28.3%)
就労・仕事等の雇用支援	15 (26.3%)	21 (23.9%)	36 (24.8%)
犯罪被害者等に関する教育の実施	10 (17.5%)	19 (21.6%)	29 (20.0%)
犯罪被害者等が置かれている状況についての啓発	12 (21.1%)	15 (17.0%)	27 (18.6%)
家事・育児の手伝い	7 (12.3%)	11 (12.5%)	18 (12.4%)
その他	0 (0.0%)	2 (2.3%)	2 (1.4%)
合計	232	373	605

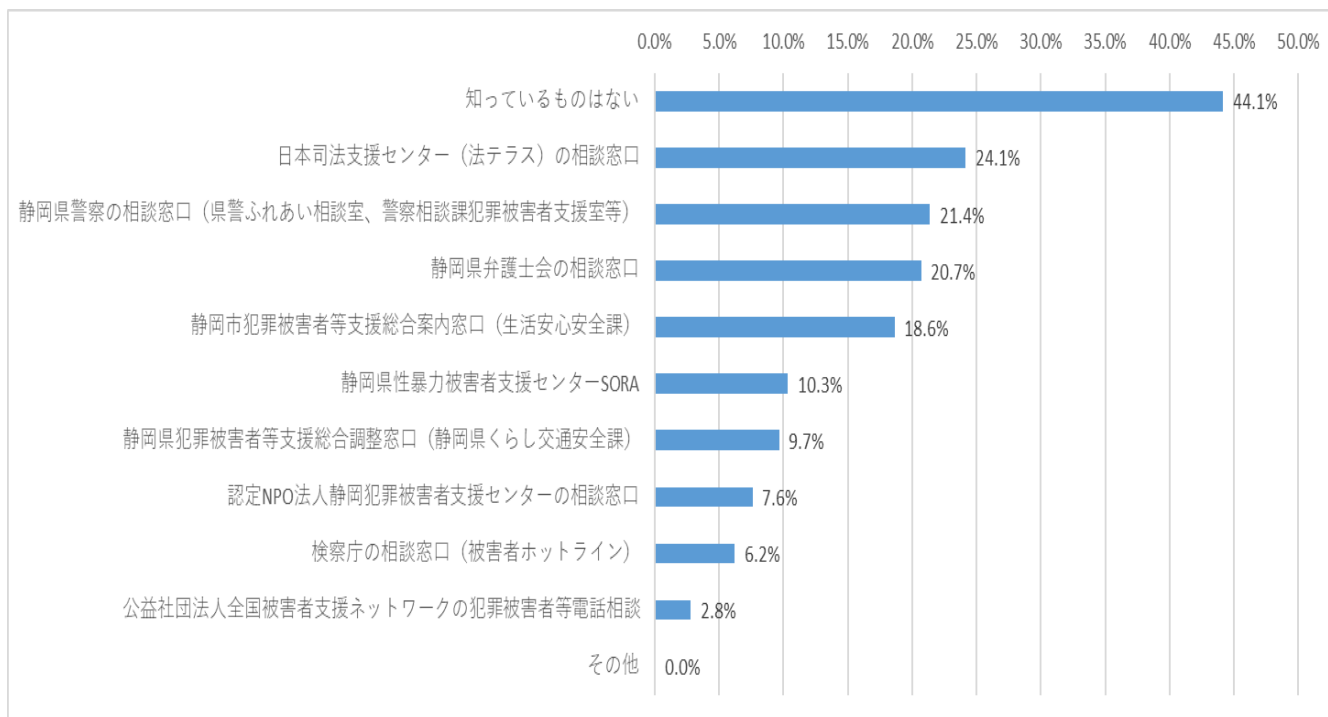
（その他意見）

- ・被害者によって求めるものが違うのでよく分からないが、被害者の情報は非公開で良いと思う。
- ・警察に通報する前に産婦人科や外科などに早急に対応して頂きたい時もあると思う。電話かメールで 24 時間すぐ対応できる窓口の周知を学校と連携して、保護者会などで教えてもらえれば、助かる人もいると思う。

問 17 犯罪被害者等の支援のための相談窓口が設けられています。このうち、あなたが知っているものを選んでください。（選択はいくつでも）

「知っているものはない」という回答が 44.1%と最も高くなった。

多くの関係機関による相談窓口があるが、認知度が全体の半数を超えているものはなかった。犯罪被害者等の相談窓口をより広く周知していく必要があると考えられる。



（ ）内の割合は各性別における割合

	男性	女性	合計
知っているものはない	25 (43.9%)	39 (44.3%)	64 (44.1%)
日本司法支援センター（法テラス）の相談窓口	12 (21.1%)	23 (26.1%)	35 (24.1%)
静岡県警察の相談窓口 （県警ふれあい相談室、警察相談課犯罪被害者支援室等）	16 (28.1%)	15 (17.0%)	31 (21.4%)
静岡県弁護士会の相談窓口	15 (26.3%)	15 (17.0%)	30 (20.7%)
静岡市犯罪被害者等支援総合案内窓口（生活安心安全課）	11 (19.3%)	16 (18.2%)	27 (18.6%)
静岡県性暴力被害者支援センターSORA	7 (12.3%)	8 (9.1%)	15 (10.3%)
静岡県犯罪被害者等支援総合調整窓口 （静岡県くらし交通安全課）	8 (14.0%)	6 (6.8%)	14 (9.7%)
認定NPO法人静岡犯罪被害者支援センターの相談窓口	3 (5.3%)	8 (9.1%)	11 (7.6%)
検察庁の相談窓口（被害者ホットライン）	3 (5.3%)	6 (6.8%)	9 (6.2%)
公益社団法人全国被害者支援ネットワークの犯罪被害者等電話相談	1 (1.8%)	3 (3.4%)	4 (2.8%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	101	139	240

問 18 防犯、犯罪被害者等支援に対する意見、要望がありましたら自由にご記入ください。(主なもの)

(主に防犯について)

- 防犯に関しては、静岡市で出来る限りの事をやってほしい。
- 個人ではなかなか難しいので、行政で行うことだと思う。
- 犯罪が自分に降りかかることとして捉えていないためか、自らの関心が低いと感じた。
- 起きてからでは遅い。事前対策の充実を望みたい。
- 防犯意識を高めるためにも、もっと身近に学べるコンテンツがあるといい。例えば SNS を使って注意喚起の動画などを流すなど、特に若い世代には伝わりやすくしていいのではないかなと思う。
- 対策強化も重要だが、犯罪が起りにくい社会づくりが前提だと思う。専門家の意見を取り入れつつ地域住民同士が協力し進めていくことが必要。
- 小学生の頃は防犯について授業で習ったり、防犯ブザーや笛を持ち歩いたりして防犯意識が今よりも強かったが、中学・高校・大学となるにつれて意識が弱くなっているように感じる。そのため、1年に1度は避難訓練と同様に防犯訓練を行った方が良く考える。
- 犯罪を全くなくすことはできないと思うが、少なくするための努力は必要だと思う。実際に犯罪を犯してしまった人や被害にあってしまった人に意見を聞き、対策を進めていく方が合理的だと思う。また、地域のコミュニティ等を活用し、情報提供等も必要だと思う。
- ボランティアにあまり頼ること無く、行政と警察組織の強い連携を望む。
- 防犯等の活動に積極的に参加したい。
- 身近で発生している犯罪等の具体的な内容と対策方法を示し、市民一人ひとりの意識を高めてほしい。

(主に犯罪被害者等支援について)

- 相談窓口がたくさんあるため、最初にどこに連絡すればよいのかよくわからない。総合窓口を絞って、広く知らせることが必要だと思う。
- 犯罪被害者の支援で、弁護士費用の補助金制度があったら良いと思う。
- 被害が起きてからの支援も必要だが、予算には限りがあり、支援を始めたなら止められないからずっと続く。被害を起さないようにする啓発活動や環境整備がまずは大切だと思う。
- 誰もが支援対象者になる可能性がある以上、老若男女問わず支援に関する情報の周知をより積極的に行うべきだ。また、どれだけ周知させることができたかについても定期的に確認することが望ましい。
- 被害者が名前を公表されたくない場合、それを必ず守ってほしい。

(その他)

- 社会的弱者を救済、守ってあげられる仕組みを分かりやすく明確に作って欲しい。
- 暴力団の行いは当然許されるべきものではないと思うが、それに蓋をするようなことをしても、根本的な解決にはならないと思う。

【所 感】

9割以上の市民の皆さまが、普段、静岡市で生活していく中で、安全で安心して生活することができると思っていることがわかり、これは、市民、事業者、警察、関係機関・団体の皆さまと行政とが連携・協力し、防犯・犯罪被害者等支援に取り組んできた成果であると考えます。

本市では、地域で様々な団体・個人の皆さまによる子どもの登下校時の見守り活動や青色防犯パトロール、ながら見守り活動等の地域防犯活動が行われていますが、今回の調査では、7割以上の方が地域防犯活動に参加していないことがわかりました。このことから、地域防犯活動への参加意欲を高め、行動していただけるよう、引き続き広報・啓発等の取組みを推進していく必要があります。

また、犯罪被害者等の支援については、行政、警察、関係団体等に様々な相談窓口が設けられていますが、半数近くの方が知らないという現状がわかりました。警察・関係団体の皆さまと連携し、相談窓口の周知等を推進していきます。

今回の市政アンケートモニター調査の結果を参考に、本市の防犯・犯罪被害者等支援施策をより一層推進していきます。